

第5回県政インターネットモニターアンケート集計結果

仕事と子育ての両立を意識した住宅に関するアンケート 消費者教育等に関するアンケート 観光を取り巻く環境の変化における県民の意識アンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、
合計が100%にならない場合がある。

○仕事と子育ての両立を意識した住宅に関するアンケート

人口減少対策として子育てしやすい住環境の整備が求められています。このような状況の中で、住宅に関してどのような需要があるかを調査し、今後の住宅施策の取組の参考とさせていただきます。ご協力をお願いします。

○消費者教育等に関するアンケート

悪質商法などの被害を減らし、人や地球環境にやさしい持続可能な社会を実現していくためには、消費者自身が表示や契約について確かな知識を身につけ、自らの消費行動を通じて将来の社会や環境をより良いものにしていくという消費者市民社会の考えを意識して行動することが必要です。

また、全ての人が自由に活動できるとともに、お互いを理解し、認め合い、思いやりあふれる共生社会を実現していくためには、全ての人のためのデザインという「ユニバーサルデザイン」の考え方を推進していくことが必要です。

今回、県民の皆様から率直なご意見を伺い、今後の消費者教育等の施策の参考とするため、アンケートにご協力ください。

○観光を取り巻く環境の変化における県民の意識アンケート

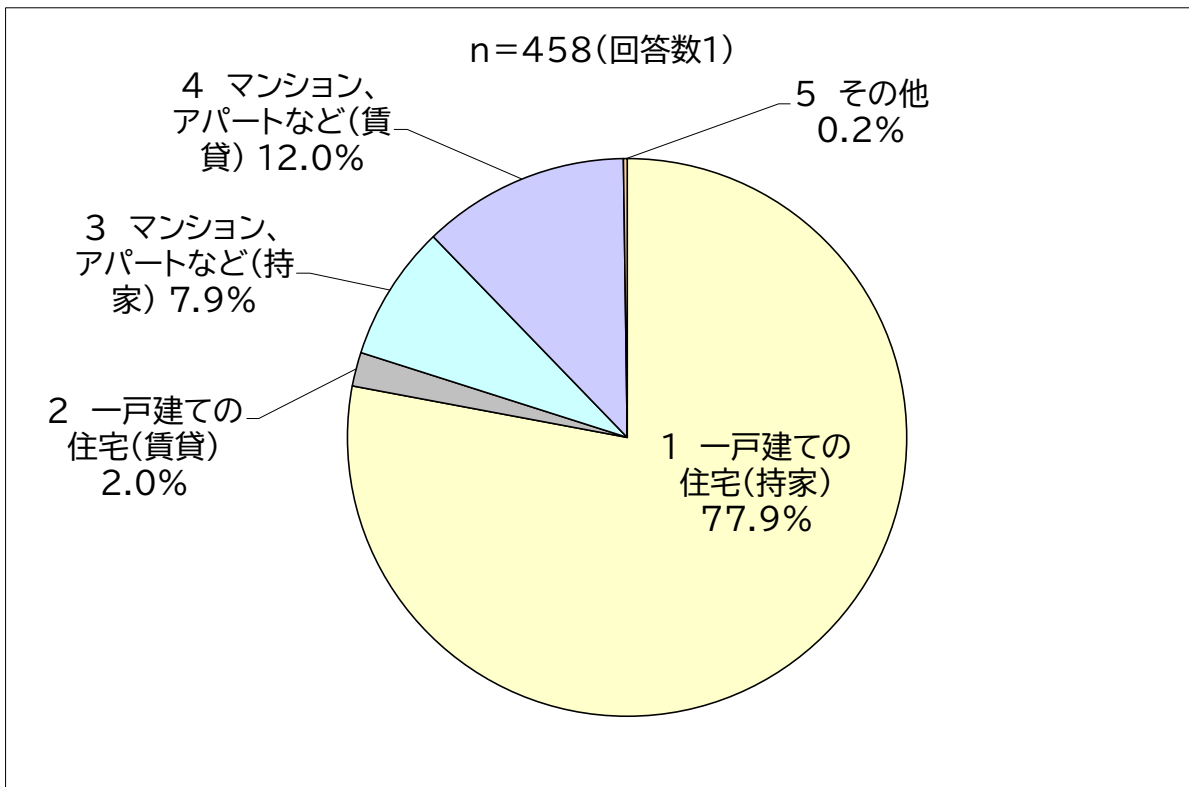
観光の発展は、国内外からの交流人口の拡大により、地域産業の活性化や雇用創出などの経済的効果に加え、異なる価値観の尊重や国際的な相互理解の促進、地域への愛着や誇りの醸成など、多岐に渡り大きな効果が期待できます。

本県観光の持続的な発展に向けて、県民の旅行状況や旅行者の受け入れに対する意識などを把握することにより、今後の観光施策の参考とさせていただきたいので、御協力をお願いします。

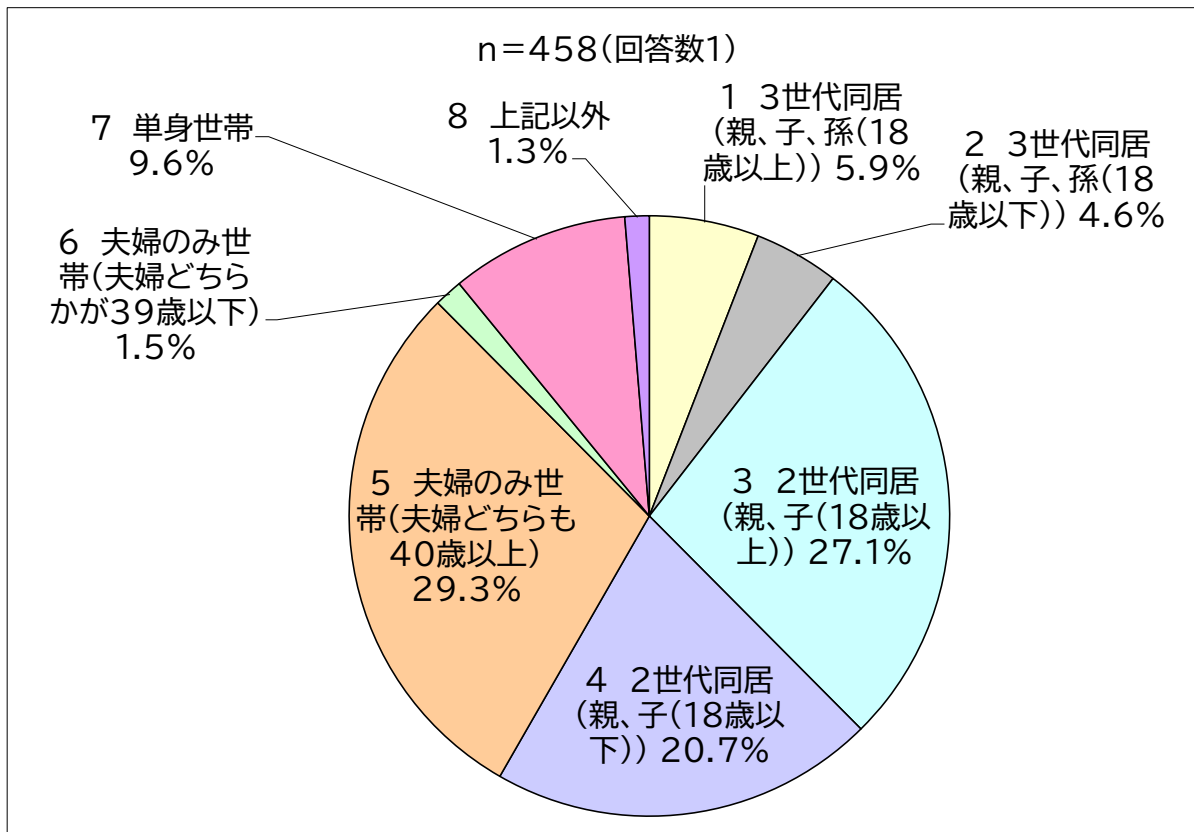
回答者数：458人（回答率：82%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	194	42.4%
	女性	261	57.0%
	その他	3	0.7%
年代	10代	10	2.2%
	20代	35	7.6%
	30代	46	10.0%
	40代	75	16.4%
	50代	128	27.9%
	60代	85	18.6%
	70代	59	12.9%
	80代	20	4.4%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	3	0.7%
	東部	143	31.2%
	中部	167	36.5%
	西部	145	31.7%
	県外	0	0.0%
職業	自営業	32	7.0%
	会社員	138	30.1%
	公務員	17	3.7%
	パート・内職従事者	79	17.2%
	学生	35	7.6%
	無職	133	29.0%
	その他	24	5.2%

○ 仕事と子育ての両立を意識した住宅に関するアンケート

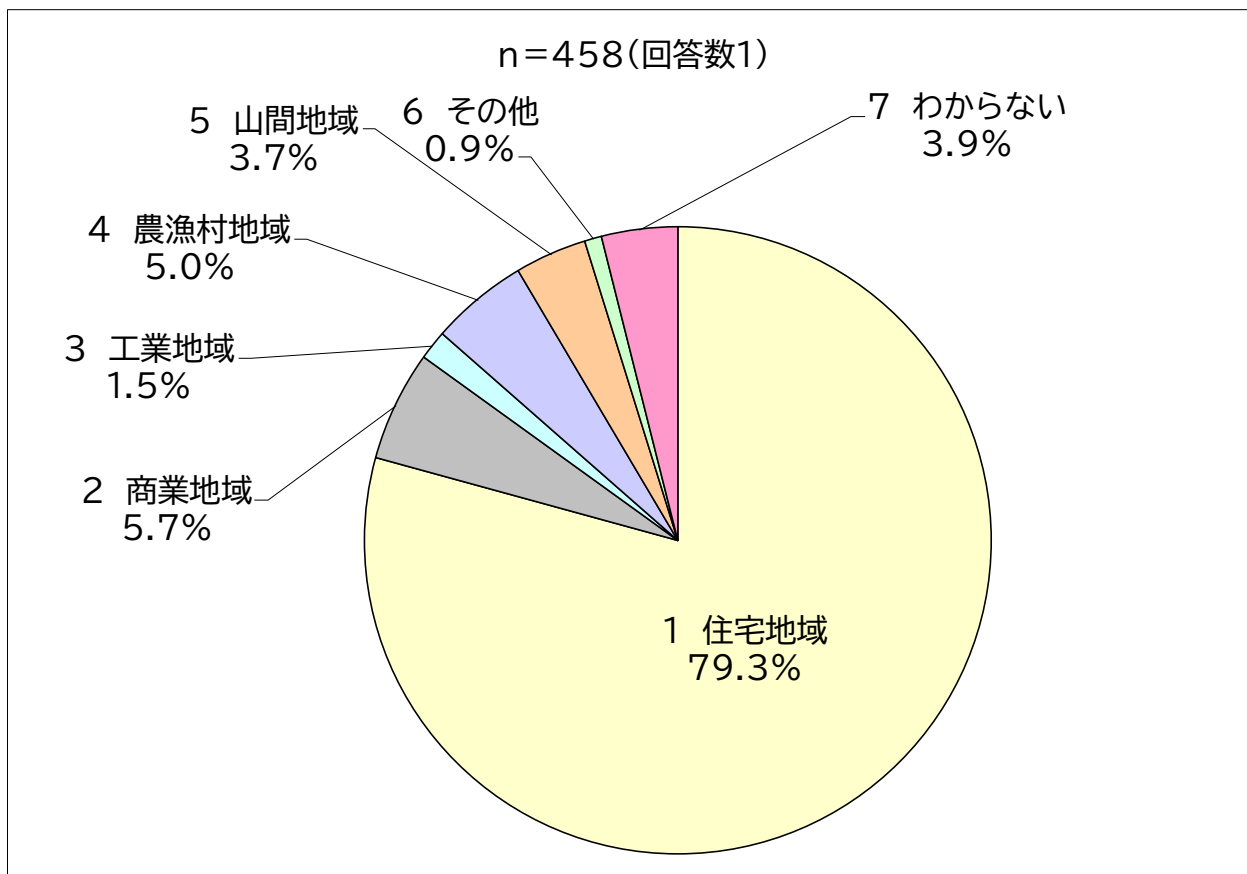
問1 あなたが現在お住まいの住宅は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



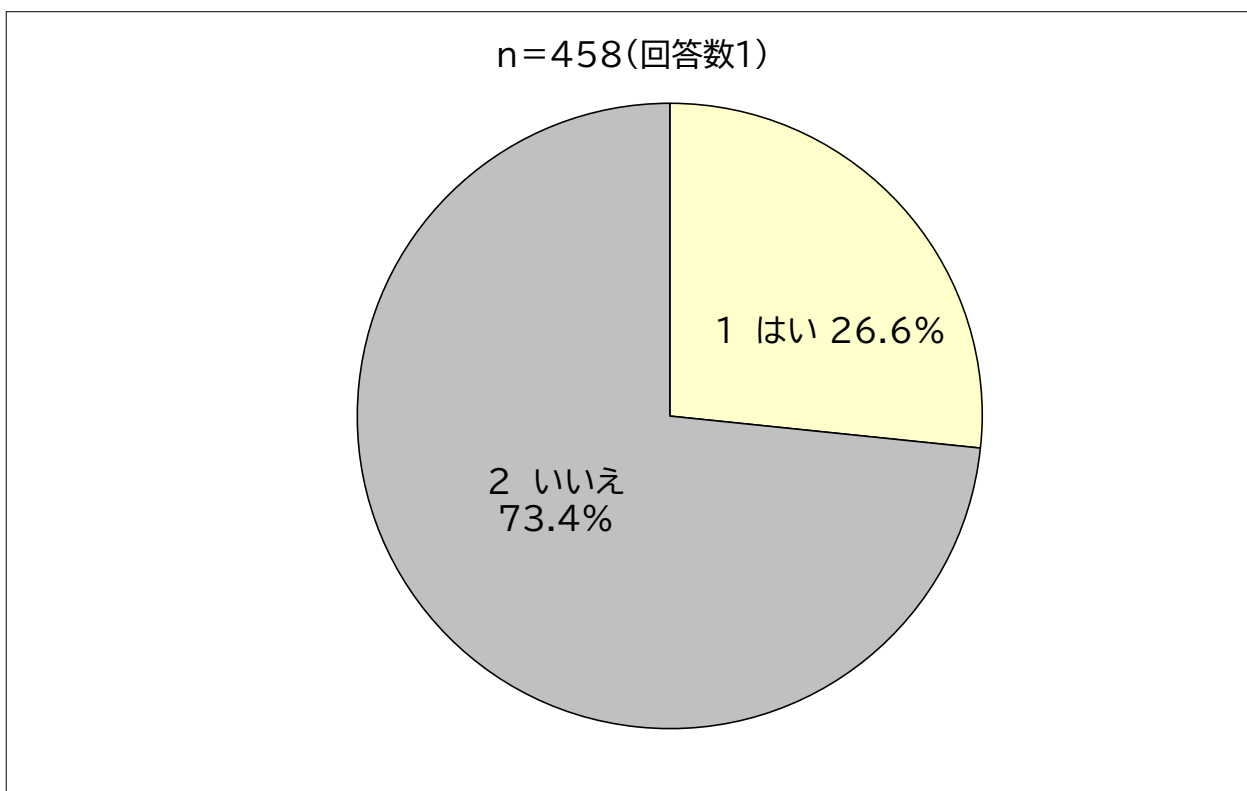
問2 あなたのお住まいの住居の世帯構成は次のうちどれにあたりますか。(回答数は1つ)



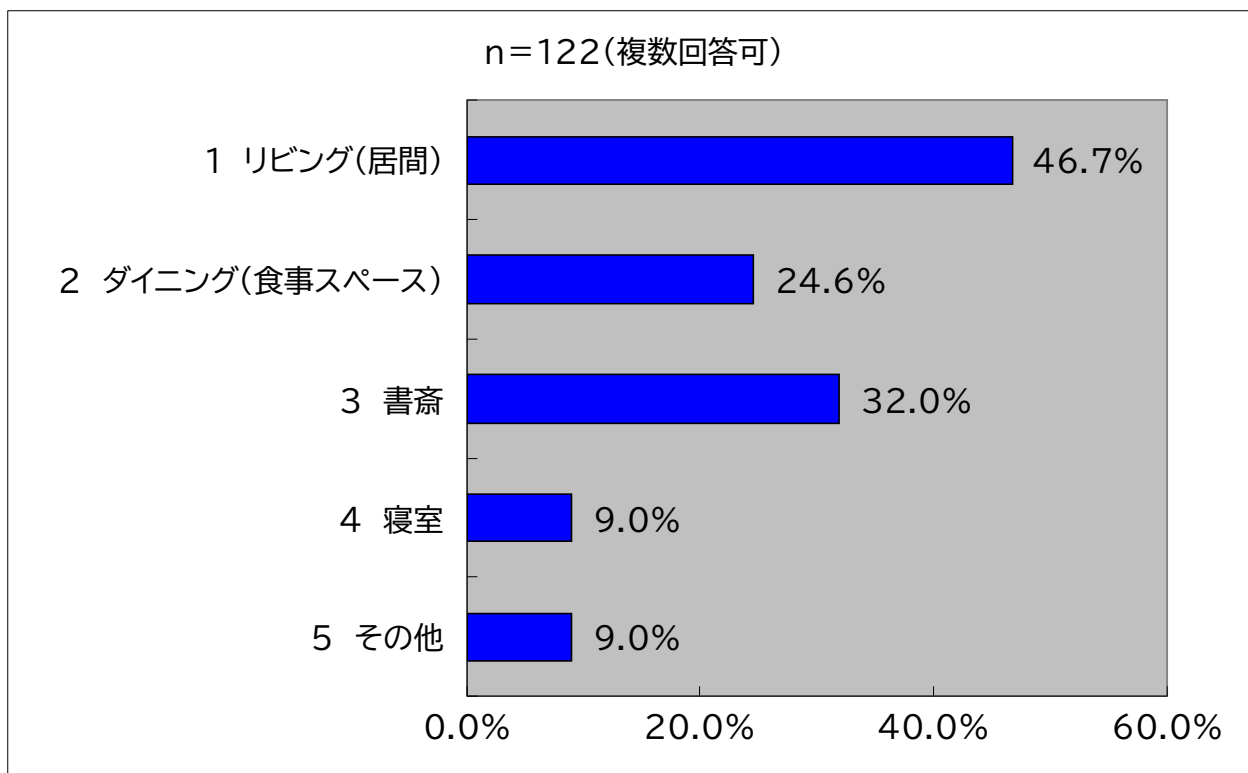
問3 あなたが現在お住まいの地域は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



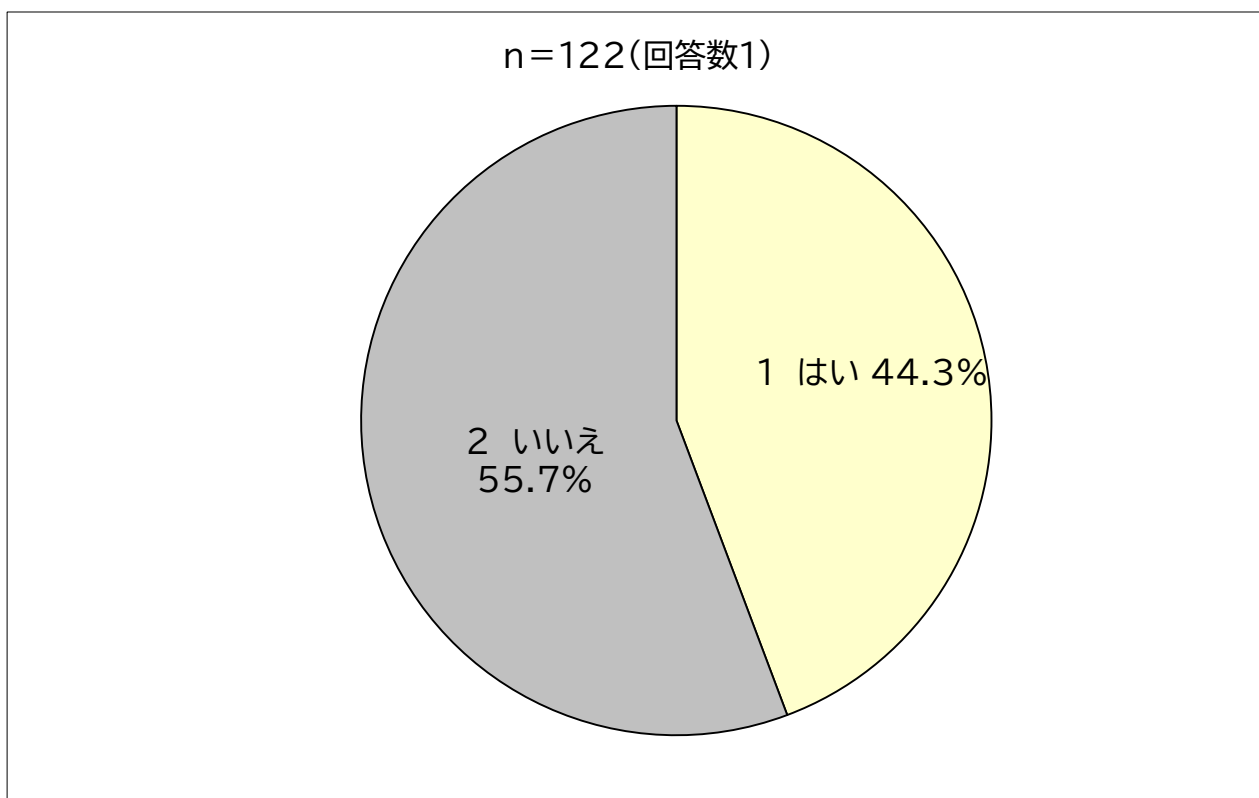
問4 あなたは在宅勤務をしたことがありますか。(回答数は1つ)



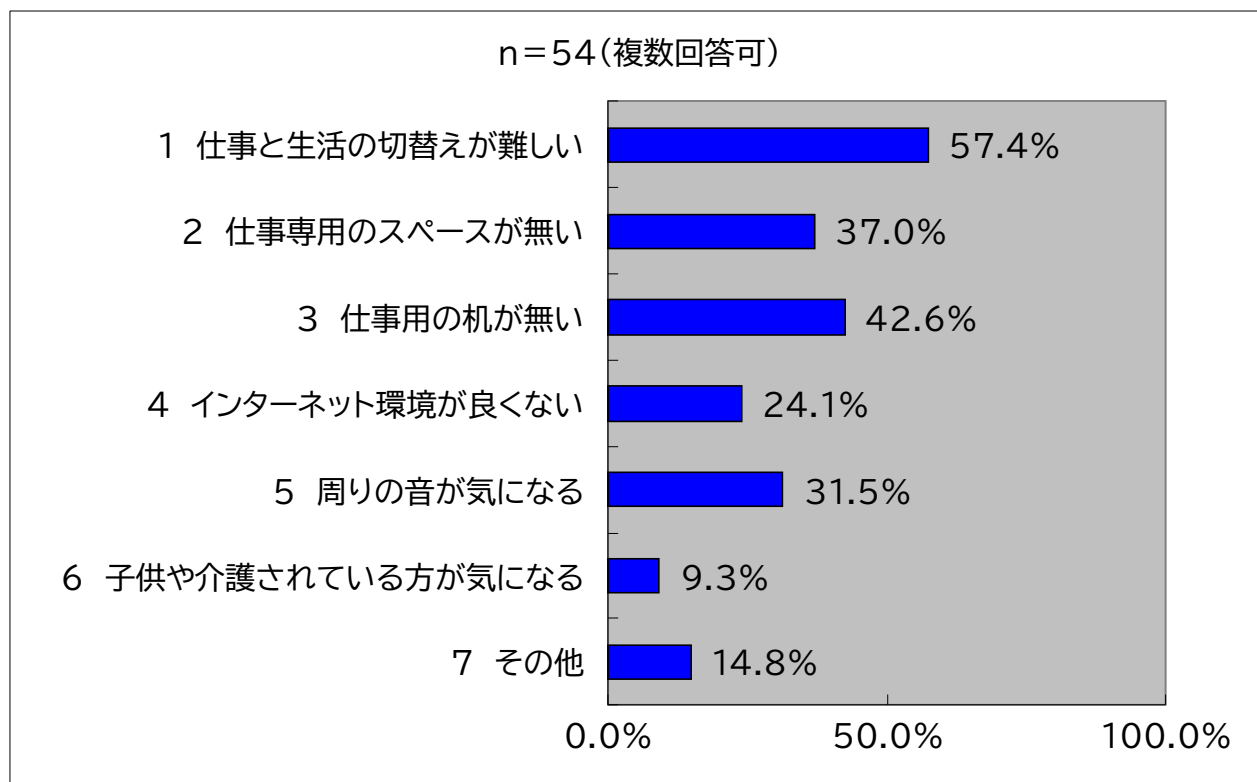
問4-2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。自宅のどのスペースで在宅勤務を行いましたか。
(複数回答可)



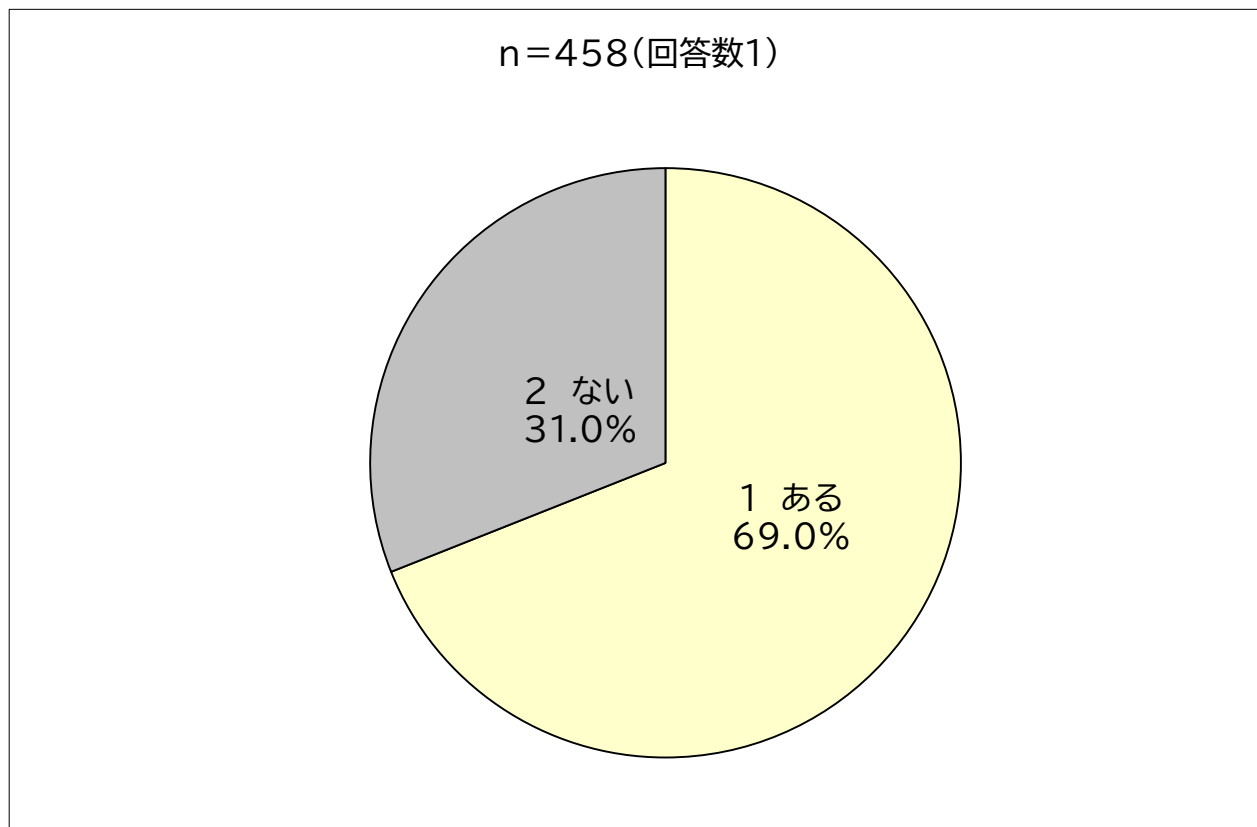
問4-3 問4で選択肢1を選択された方に伺います。在宅勤務で不便に感じたことはありますか？
(回答数は1つ)



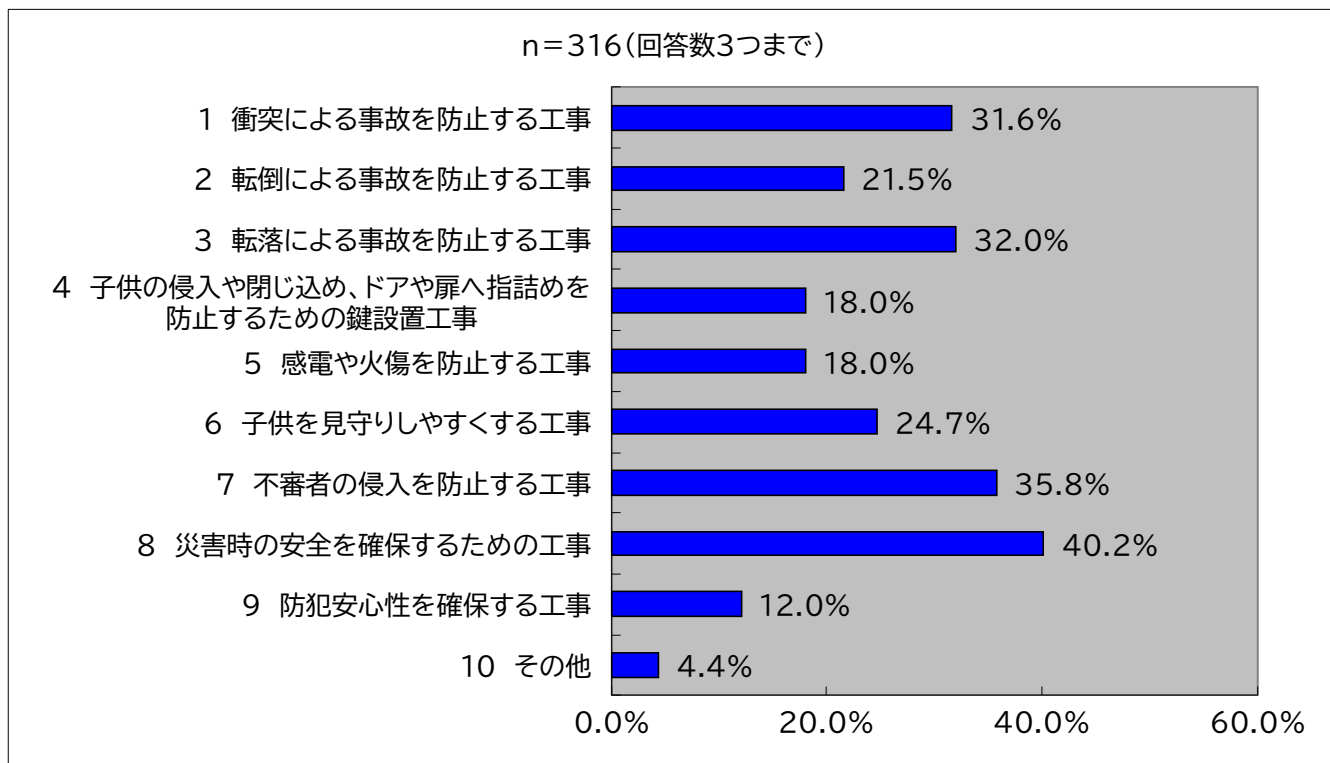
問4-3-2 問4-3で選択肢1を選択された方に伺います。在宅勤務で不便に感じたことはどのようなことですか。(複数回答可)



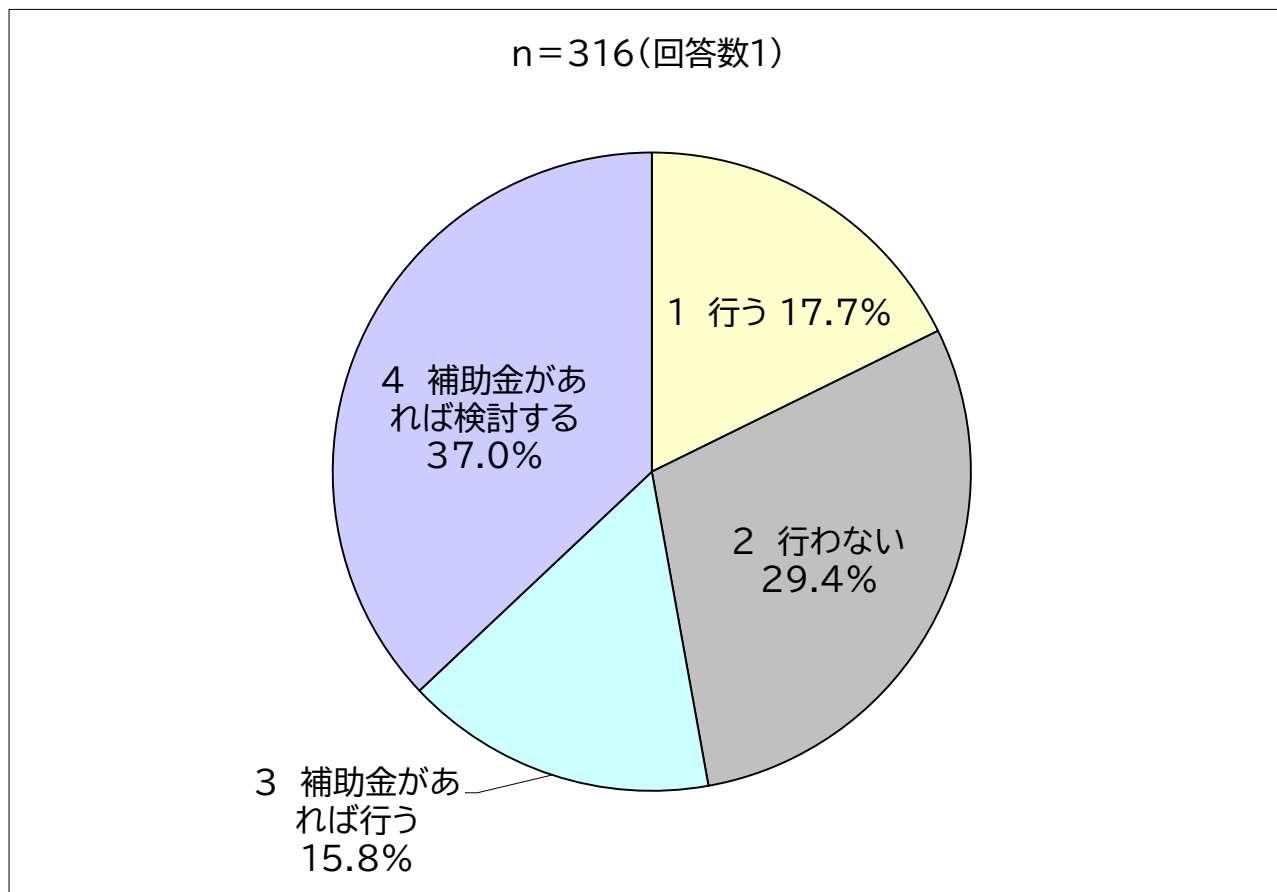
問5 あなたは子育てをしたことがありますか？(回答数は1つ)



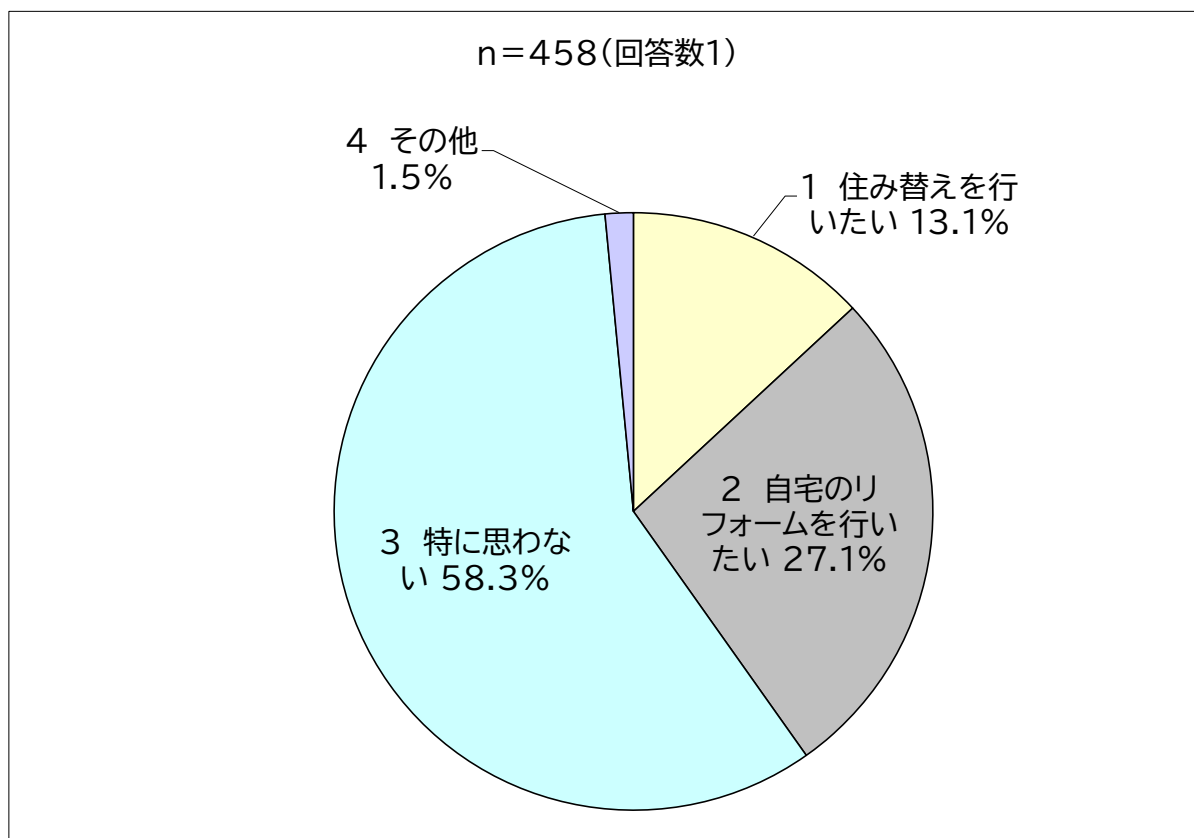
問5-2 問5で選択肢1を選択された方に伺います。子育ての際、実施したい工事は次のうちどれですか？(回答数は3つまで)



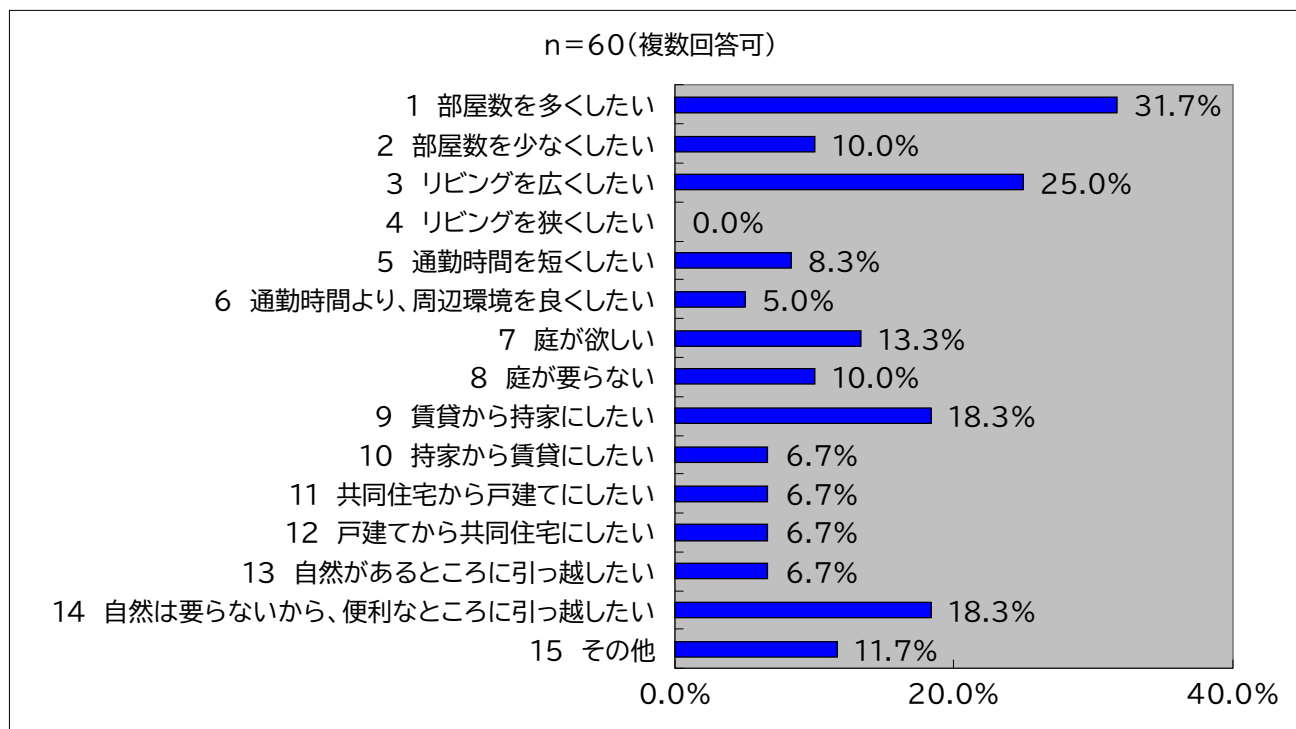
問5-3 問5-2で選択した工事は実際に行いますか？(回答数は1つ)



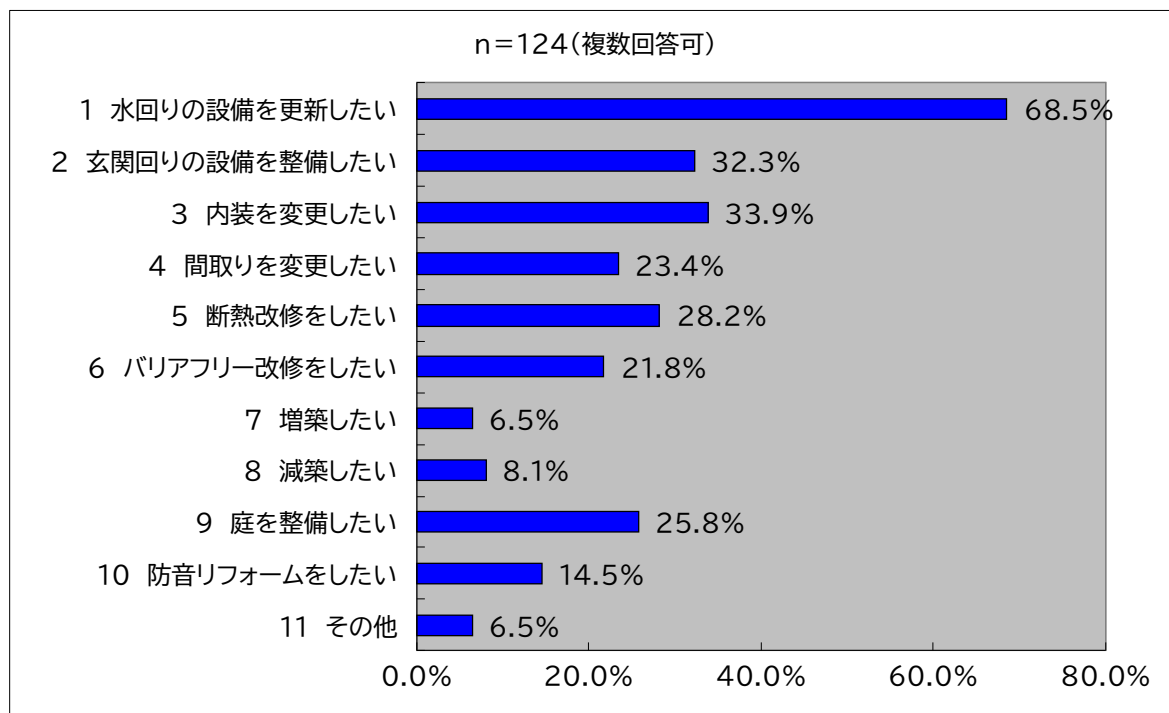
問6 あなたは現在、住み替えや自宅のリフォームを行いたいと思いますか。(回答数は1つ)



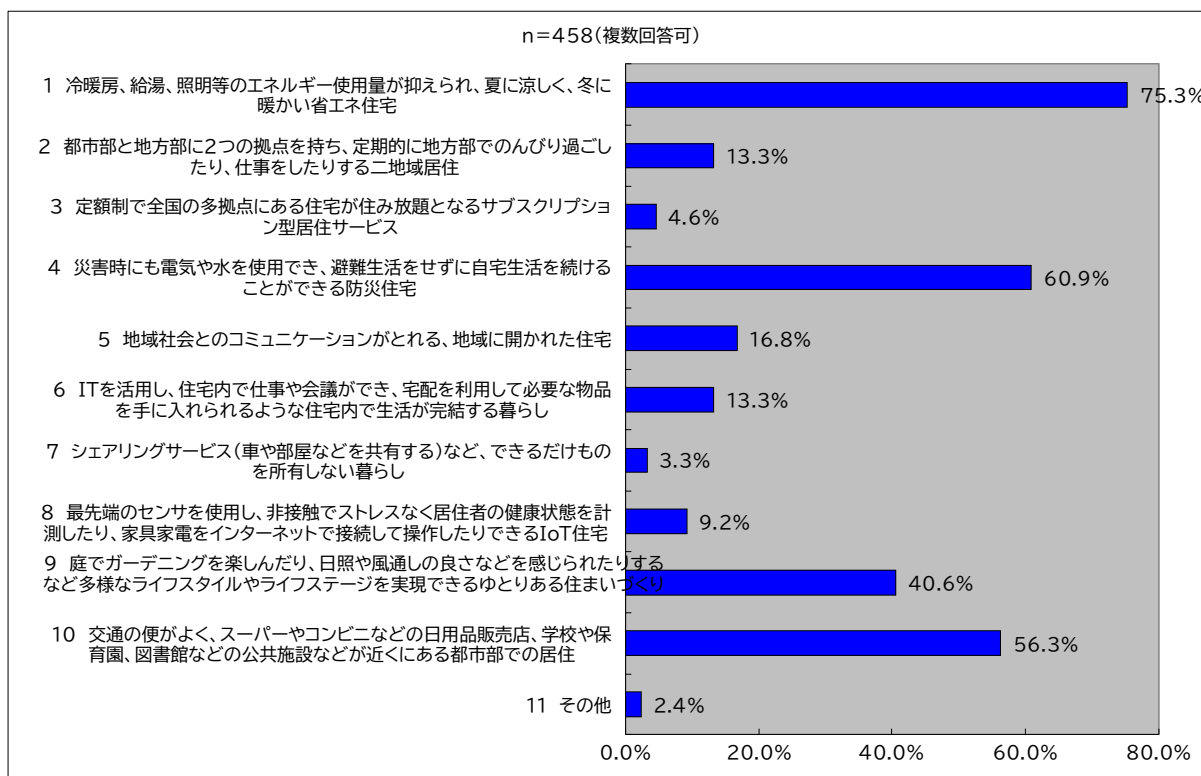
問6-2 問6で選択肢1を選択された方に伺います。どのような住み替えを行いたいと思われましたか。(複数回答可)



問6-3 問6で選択肢2を選択された方に伺います。自宅のリフォームを行いたい場所はどこですか。
(複数回答可)



問7 あなたにとって、理想とする住宅や暮らし方はどのようなものですか。(複数回答可)



問8 今後の住宅政策について県や市町に要望することがあれば記載してください。(500文字以内)

担当課 静岡県くらし・環境部建築住宅局住まいづくり課

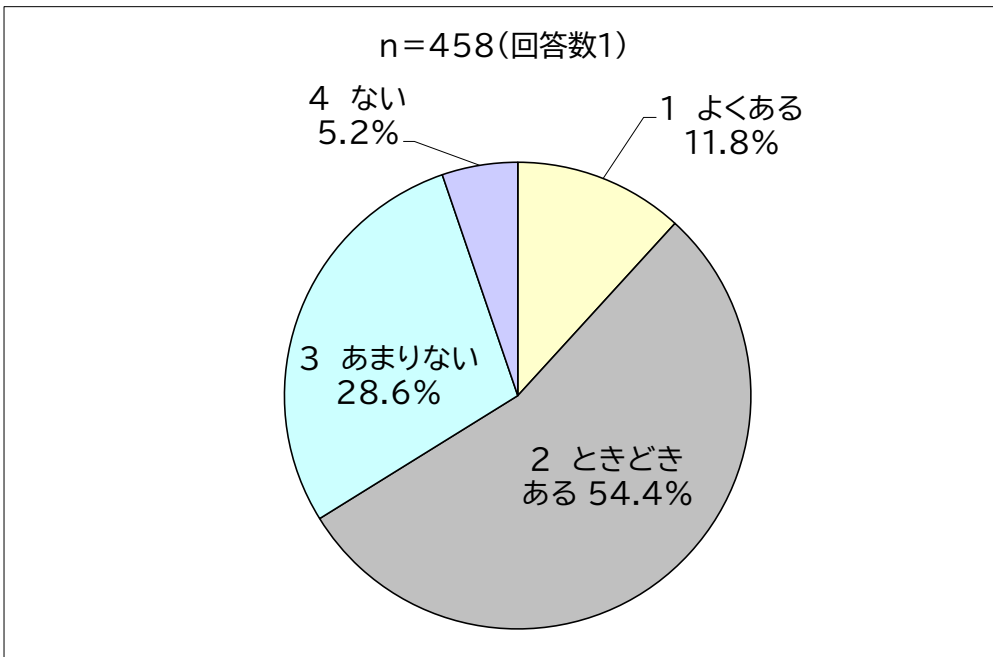
TEL 054-221-3070

FAX 054-221-3083

メール sumai@pref.shizuoka.lg.jp

○ 消費者教育等に関するアンケート

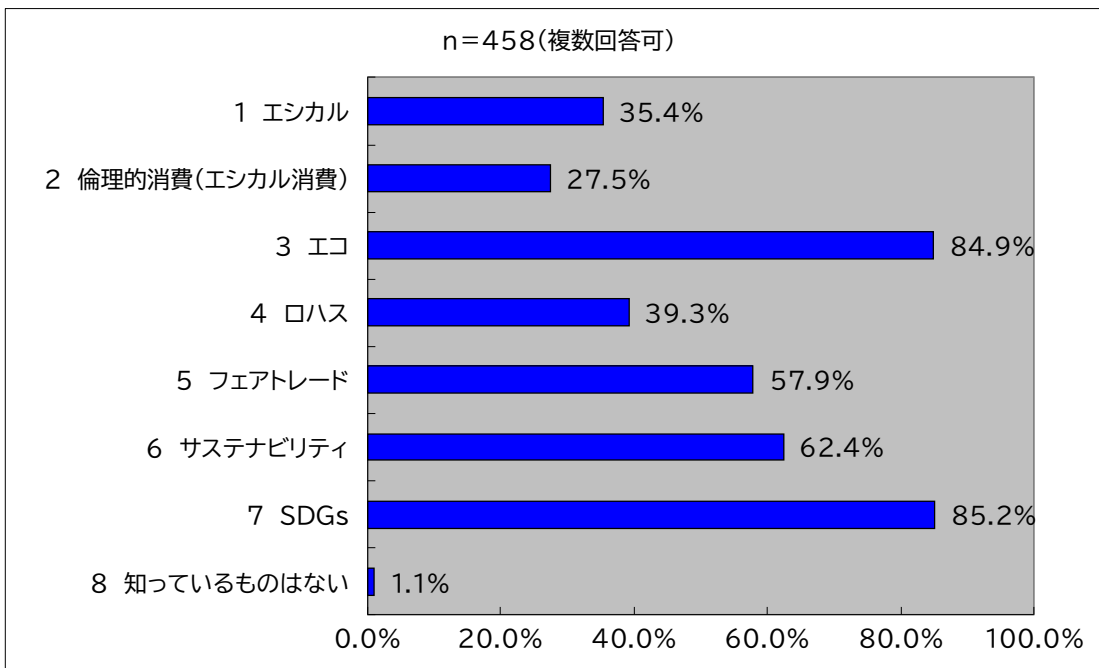
問1 あなたは、商品・サービスを選択する際に、環境保全、被災地の支援、地産地消、障がいがある人への支援、開発途上国の労働者の生活改善など、社会貢献につながるものを意識的に選択することがありますか。(回答数は1つ)



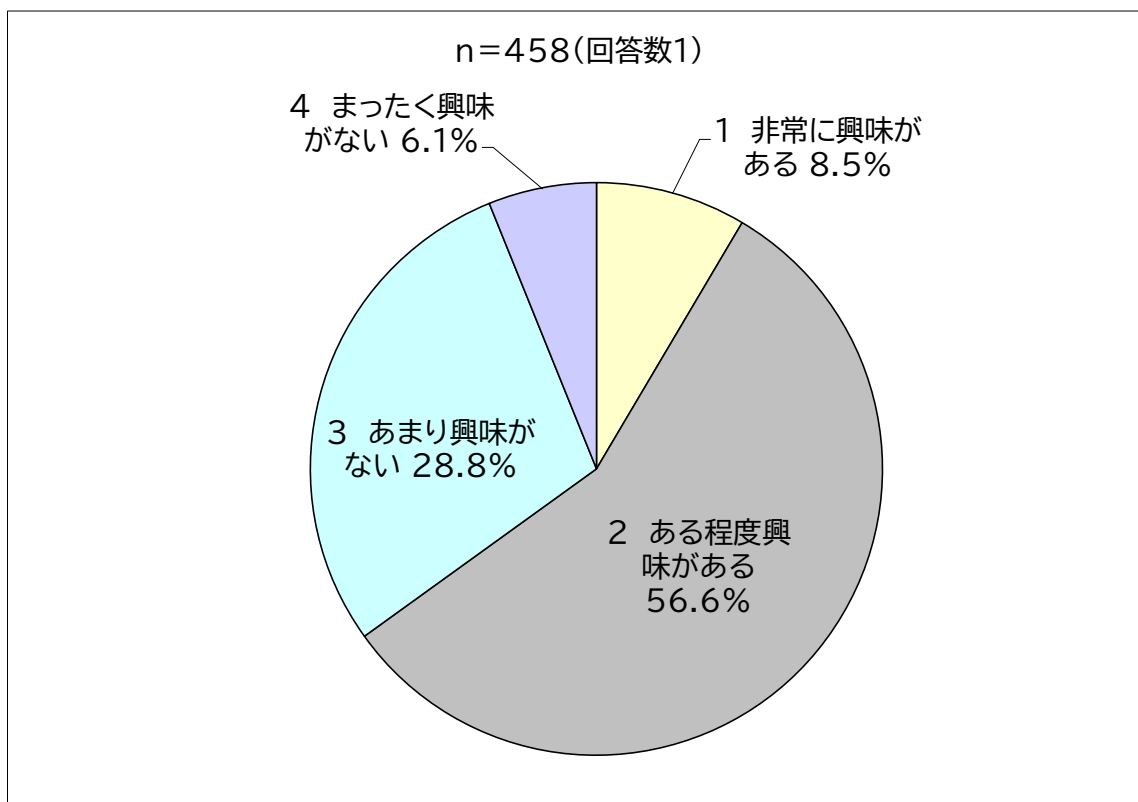
問2 あなたは倫理的消費(エシカル消費)※に関連する以下の言葉を知っていますか。(複数回答可)

※倫理的消費(エシカル消費):地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動のことであり、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりしながら消費活動を行うこと。

具体例としては、障がい者支援につながる商品等の消費(人への配慮)、公正な取引を促進し開発途上国の労働者の生活改善を目指すフェアトレード商品や寄付付きの商品の消費(社会への配慮)、エコ商品やリサイクル製品の消費(環境への配慮)、地産地消や被災地産品の消費(地域への配慮)など。

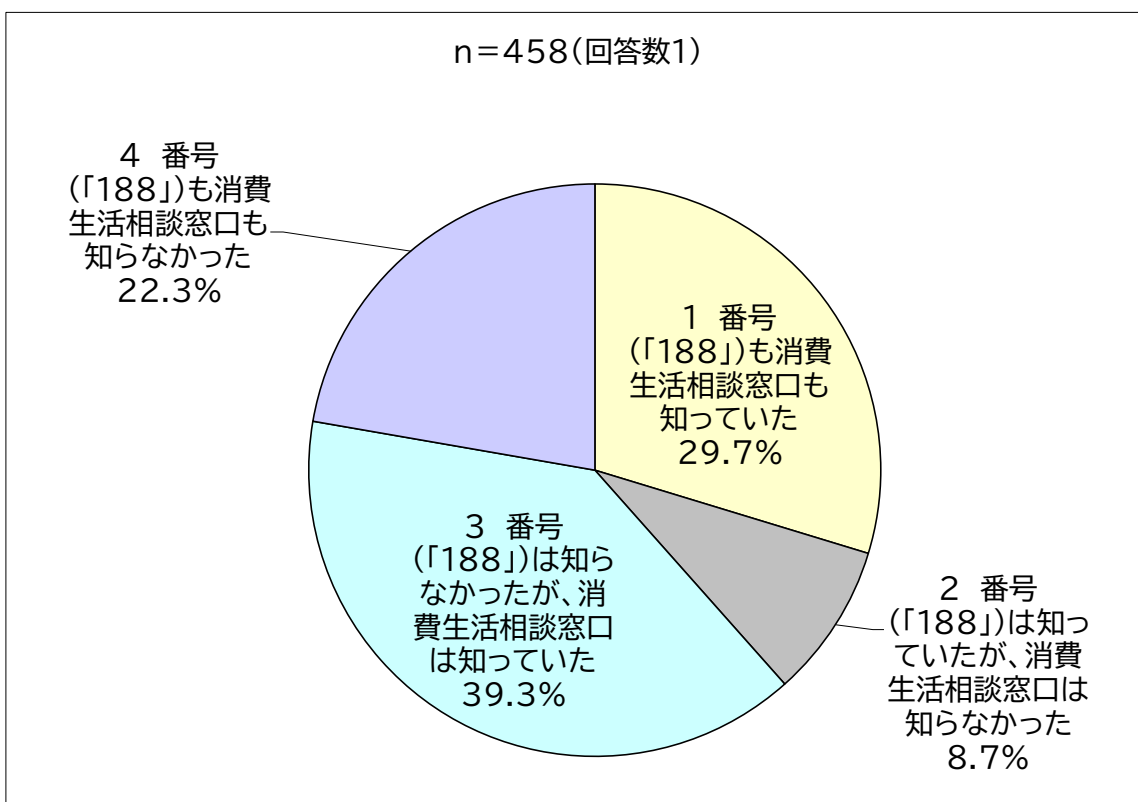


問3 あなたは、倫理的消費(エシカル消費)についてどの程度興味がありますか。(回答数は1つ)

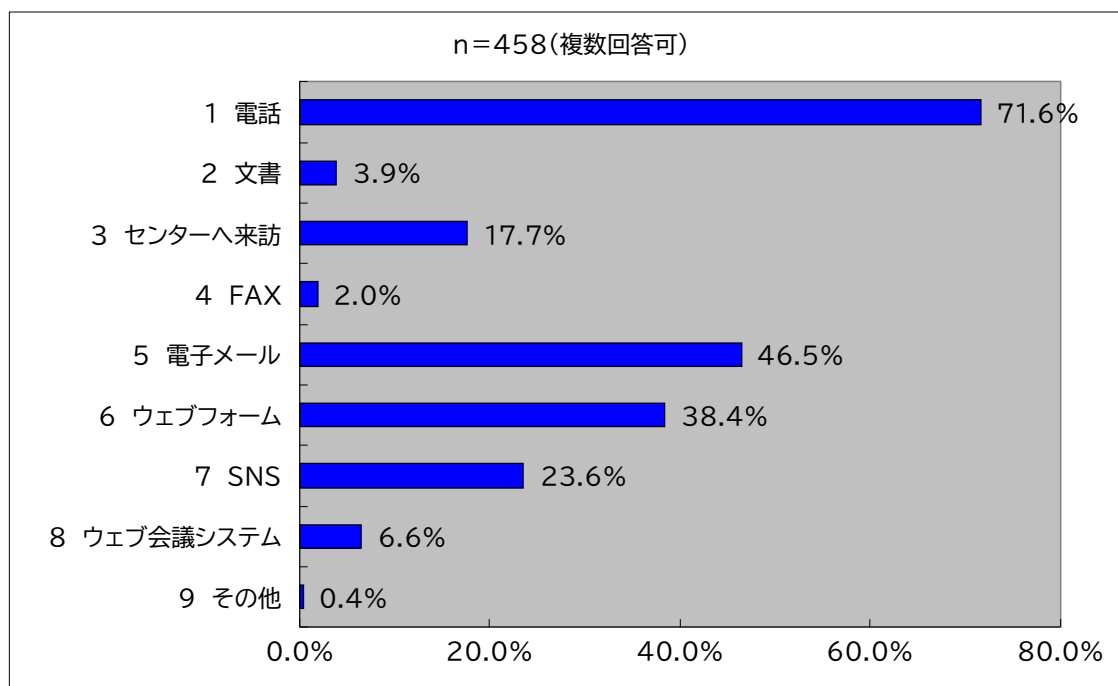


問4 あなたは、「消費者ホットライン188(いやや!)」※、県民生活センターや市町消費生活センターなどの消費生活相談窓口を知っていますか。(回答数は1つ)

※消費者ホットライン:電話で3桁の「188」番にかけると、お近くの消費生活センターや消費生活相談窓口につながり、消費生活相談の最初の一步をお手伝いするもの

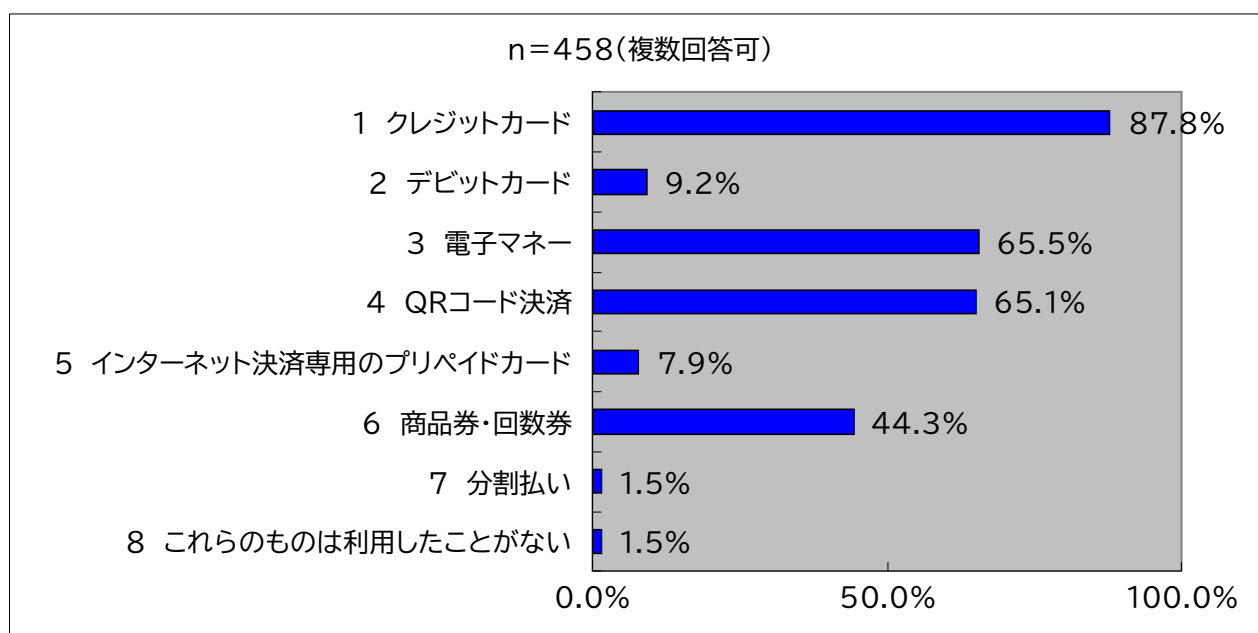


問5 あなたが、消費生活センター(又は消費生活相談窓口)に相談する際、連絡手段として、次のうちどれを利用したいですか。(複数回答可)



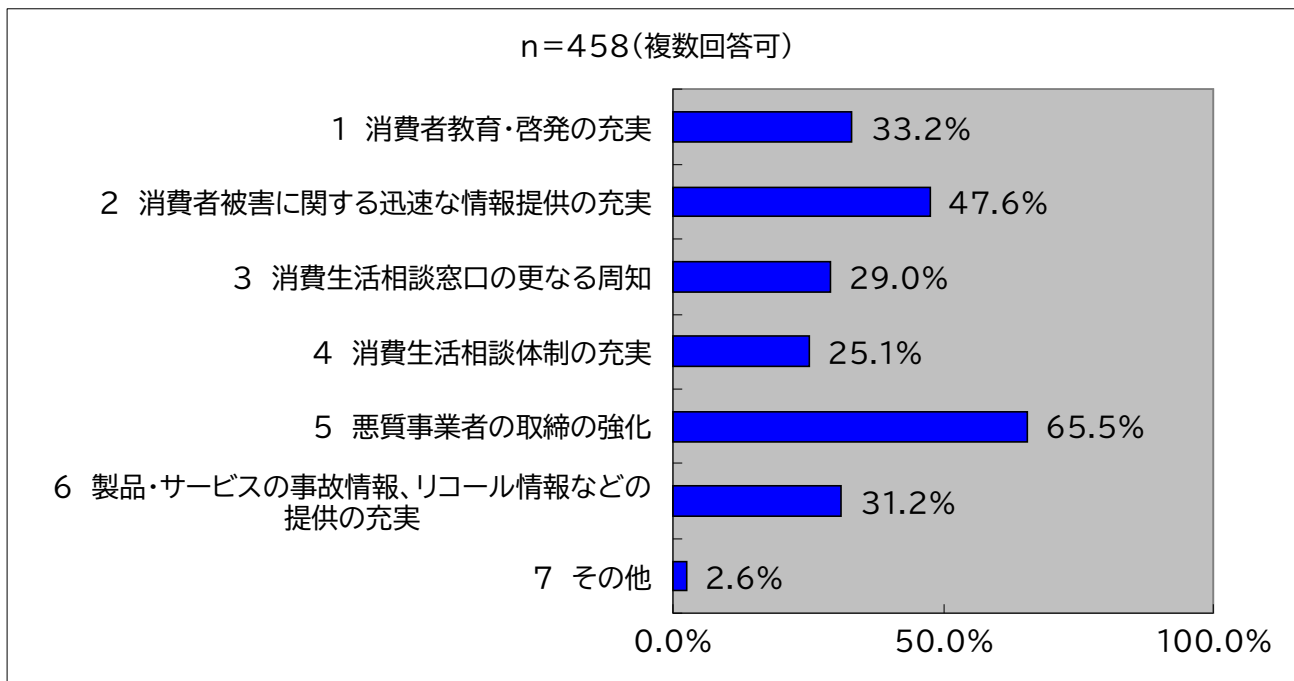
問6 あなたが、この1年間に利用した支払形態等は次のうちどれですか。(複数回答可)

- ※1 金融機関のキャッシュカードを使って、買い物等の支払ができるサービスで、支払と同時に利用した金額が銀行口座から引き落とされるもの
- ※2 ここでの「電子マネー」とは、磁気カードやICカード等に、あらかじめ現金又はクレジットカード等から貨幣通貨を充当(チャージ)し、それを店舗等で利用するもの、または磁気カードやICカード等をクレジットカードと連携させ、店舗で利用し、利用金額がカード利用分に加算され後払いするもの
- ※3 ここでの「インターネット決済専用のプリペイドカード」とは、オンラインストアが発行するギフト券等の、インターネット決済専用の電子マネーをいい、オンラインストアやコンビニエンスストア等で購入することができるもの
- ※4 ここでの「商品券」には、百貨店やクレジットカード会社が発行する商品券だけではなく、例えばビール券や図書カード等を含む。
- ※5 呉服、宝石、車、住宅、電化製品等の購入におけるローン払いを含む。クレジットカードの分割払いの場合は、「1クレジットカード」を選択してください。



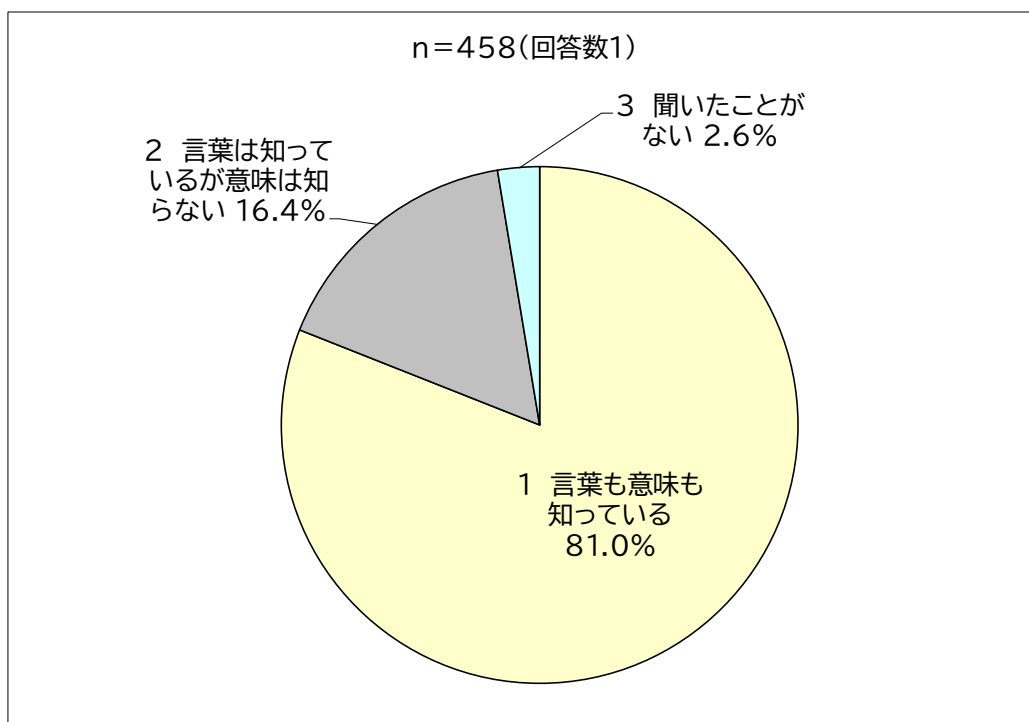
問7 あなたが、消費生活問題に対する取組として、静岡県に力をいれてほしいことは何ですか。(複数回答可)

※消費者教育：自立した消費者を育成するために行われる、消費生活に関する教育や啓発活動のこと。静岡県では、契約等の消費生活に関する知識や消費者トラブルとその対処法等について、学校や地域・企業など希望をいただいたところへ講師を派遣し出前講座を実施しているほか、消費者被害防止キャンペーンの実施やリーフレットの作成、HPの掲載等により啓発を行っています。

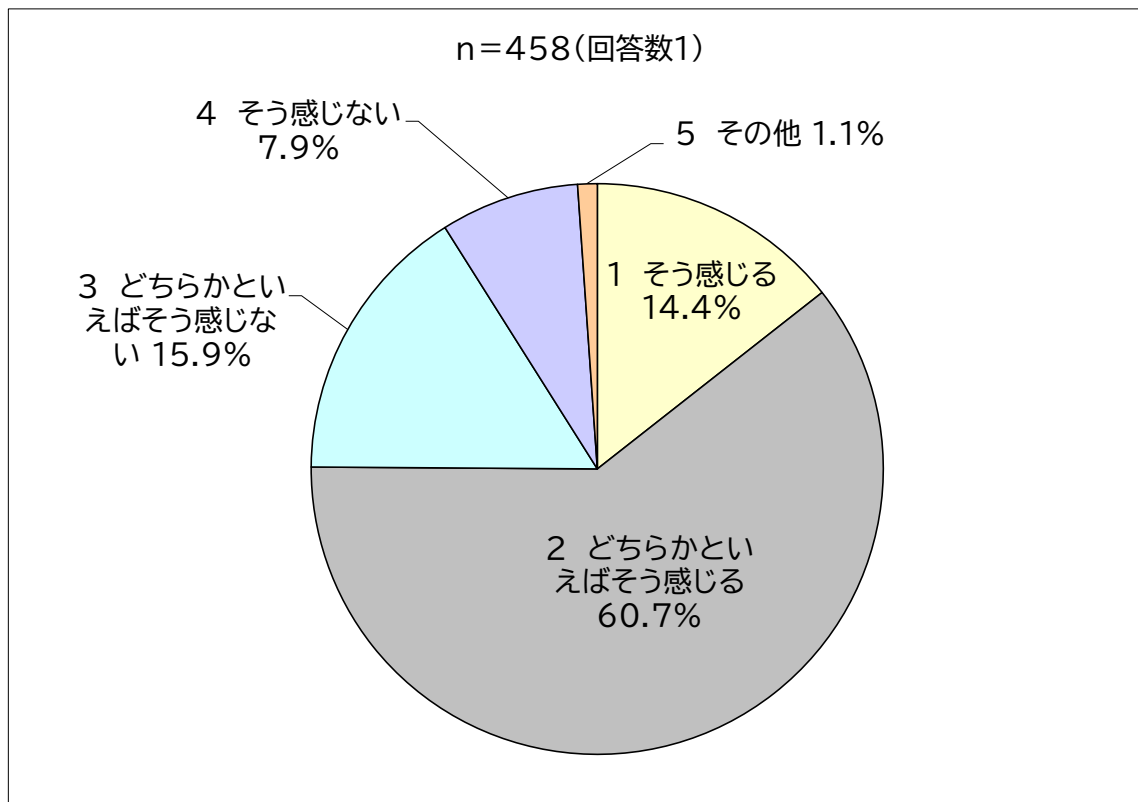


問8 あなたは、「ユニバーサルデザイン」※という言葉を知っていますか。(回答数は1つ)

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、身体能力など人々が持つ様々な特性や違いを認め合って、はじめから、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した建物、製品、サービス、環境等のデザインをしていこうとする考え方

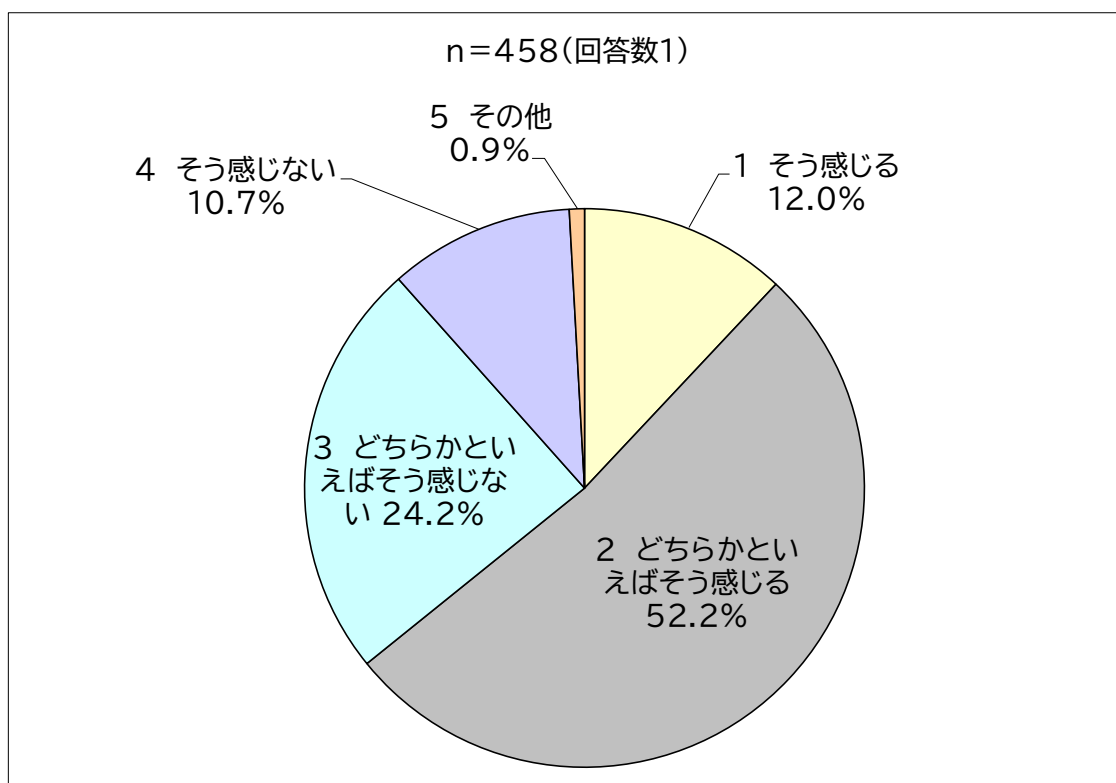


問9 あなたの周りの多くの人が利用する施設では、エレベーター、スロープ、手すり、バリアフリートイレが整備されるなど、使いやすくなっていると感じますか。(回答数は1つ)

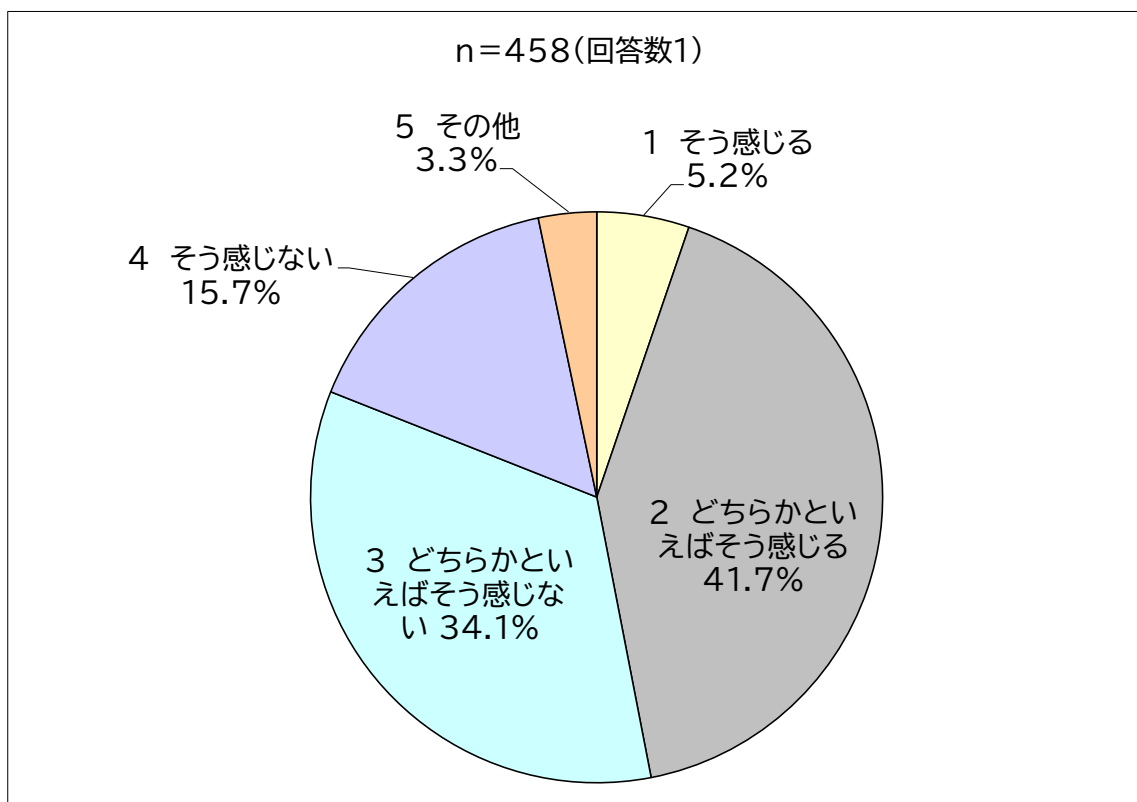


問10 あなたは、日常生活で使う製品、社会生活に必要な情報提供が、多言語対応、視覚・聴覚障害者対応、ピクトグラム※など、さまざまな人の立場に立って配慮されてきていると感じますか。(回答数は1つ)

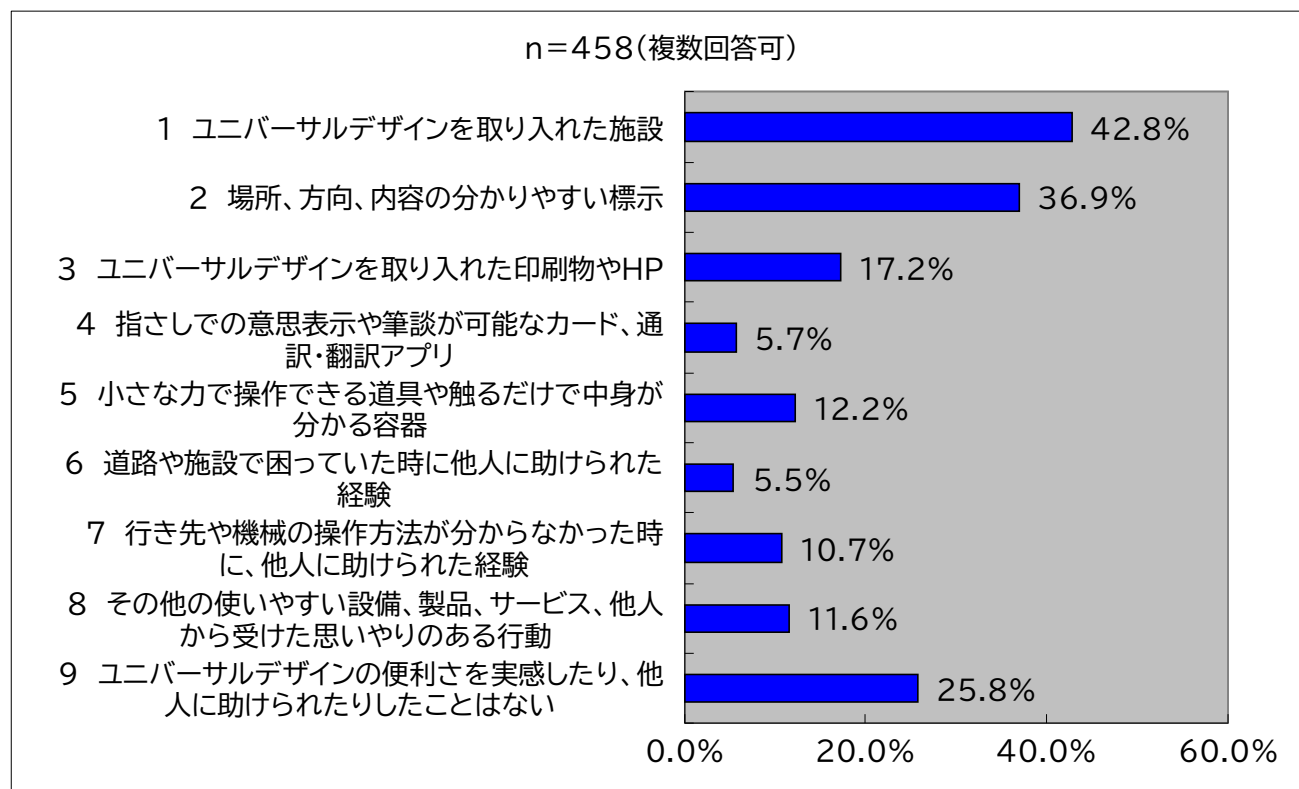
※案内用図記号(ピクトグラム)とは、不特定多数の人々が利用する公共交通機関や公共施設、観光施設等において、文字・言語によらず対象物、概念または状態に関する情報を提供する図形です。(国土交通省ホームページより)



問11 あなたは、日常生活において、年齢や国籍、障害等のさまざまな多様な特性や違いに配慮し、必要な手助けをするなど、相手の立場に立って行動をしている県民が増えてきていると感じますか。
(回答数は1つ)



問12 あなた自身が、この1年間に、次のようなユニバーサルデザインについて、その便利さを実感したもののや、助けられたこととしてあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)



問13 消費者教育、ユニバーサルデザインの推進について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。(500字以内)

担当課 暮らし・環境部県民生活局県民生活課

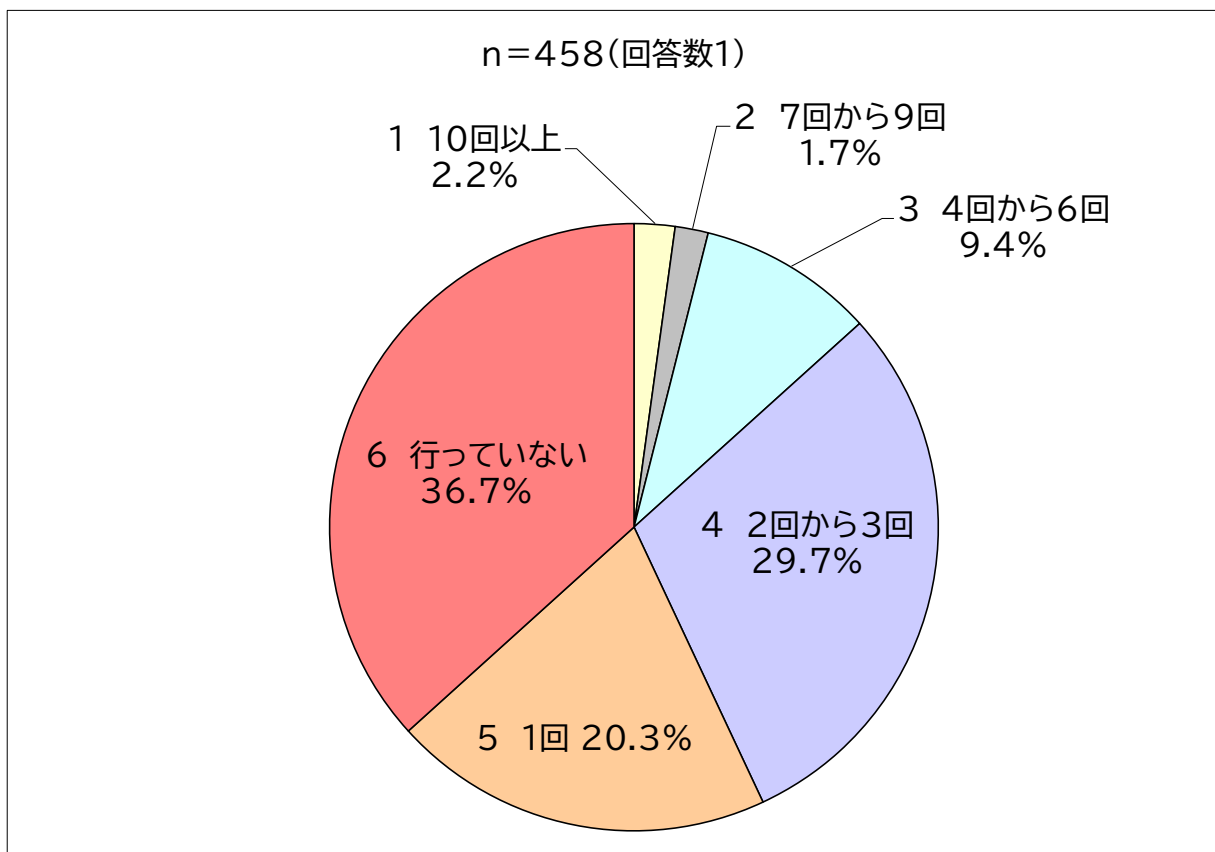
TEL 054-221-2175

FAX 054-221-2642

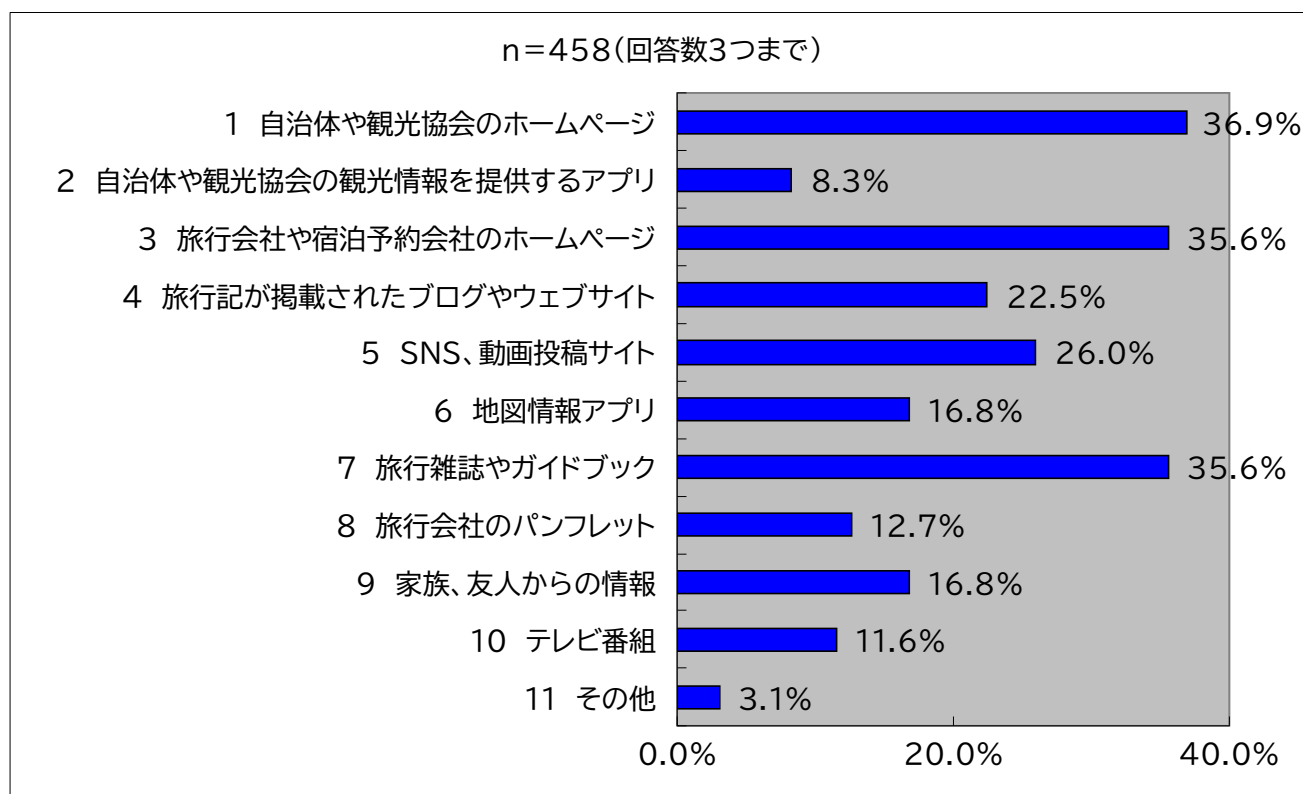
メール shohi@pref.shizuoka.lg.jp

○ 観光を取り巻く環境の変化における県民の意識アンケート

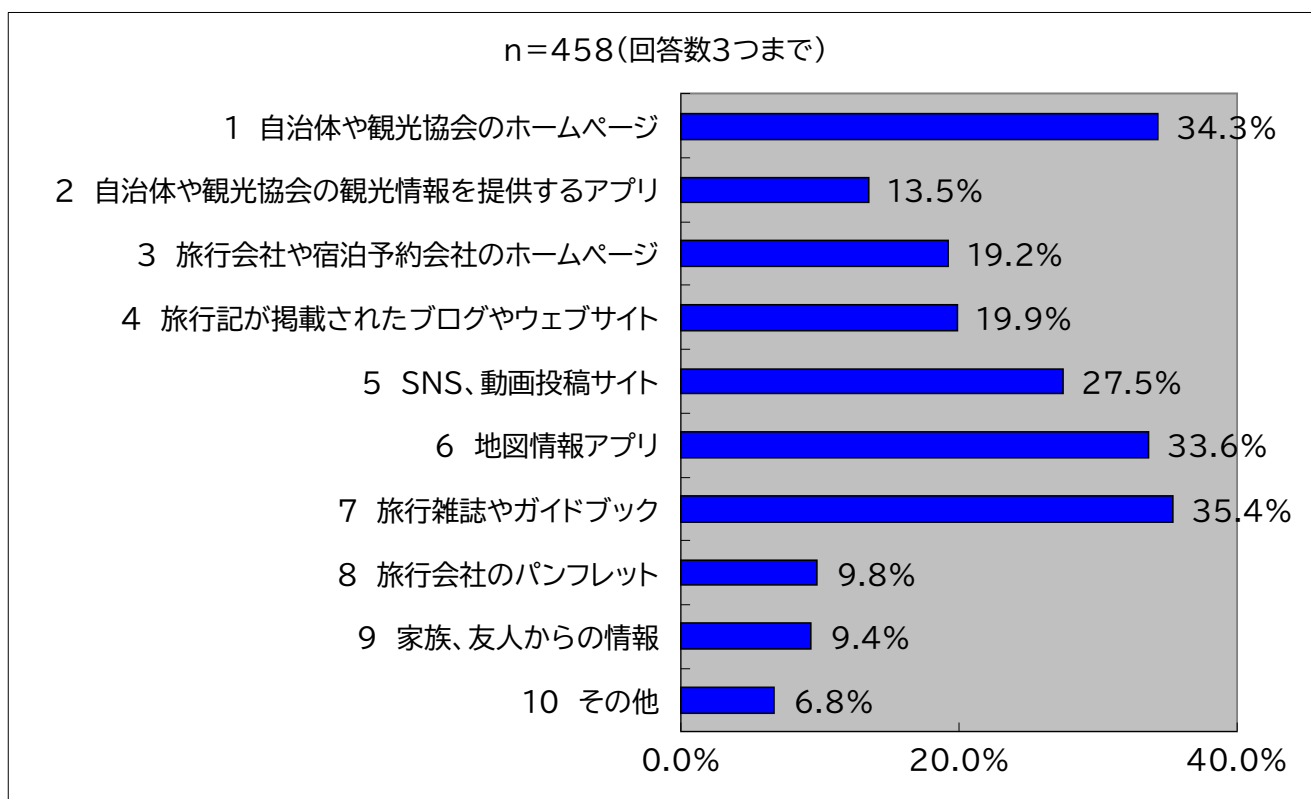
問1 令和5年1月から12月までの1年間に、宿泊を伴う旅行に、どの程度行きましたか。(回答数は1つ)



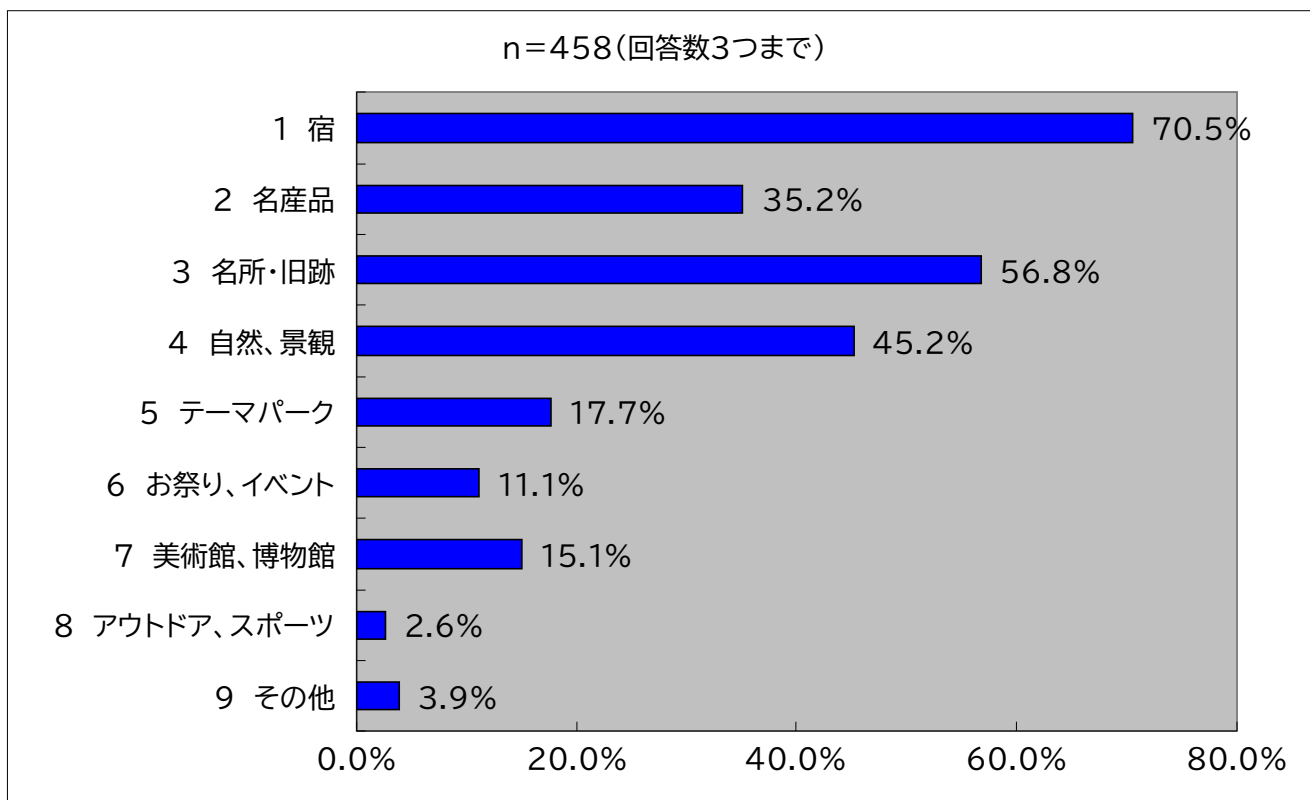
問2 旅行前に旅行先の情報をどのように探しますか。(回答数は3つまで)



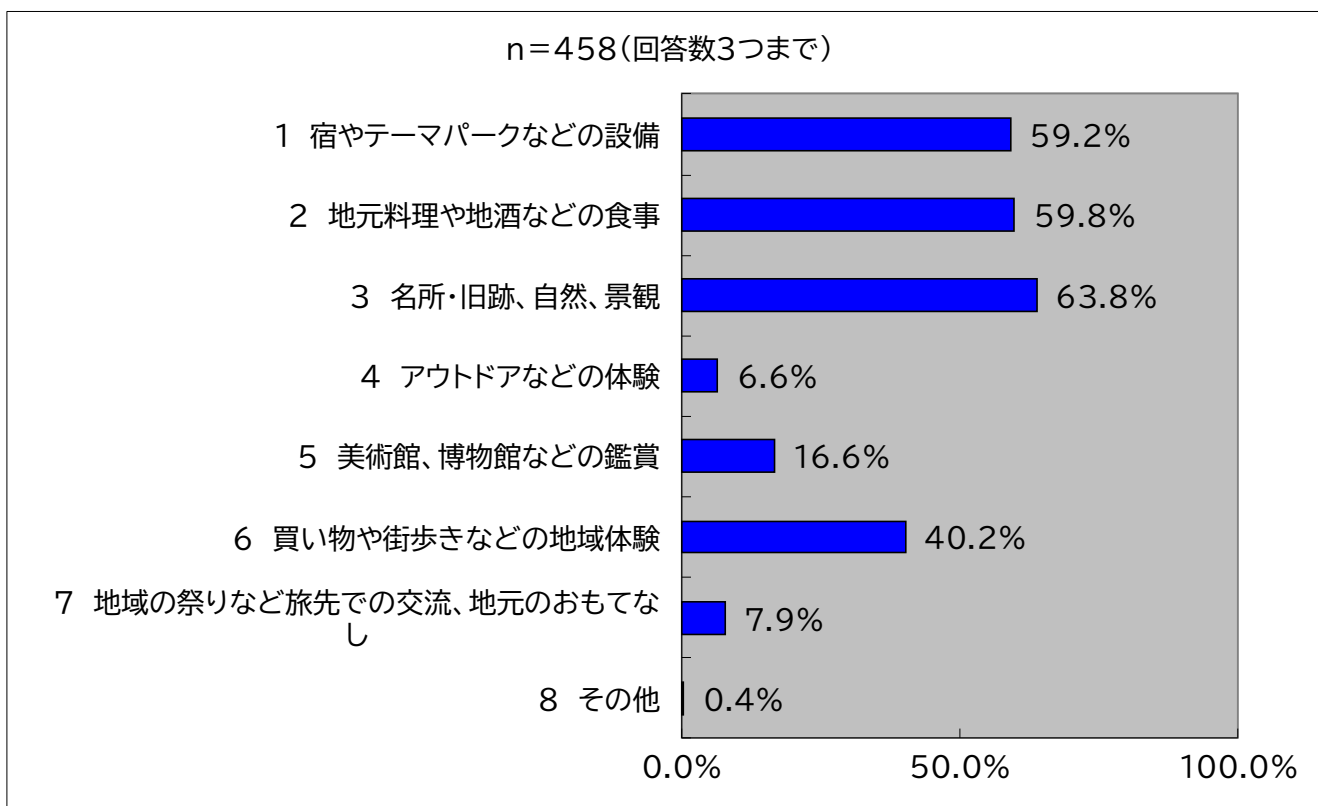
問3 旅行中に旅行先の情報をどのように探しますか。(回答数は3つまで)



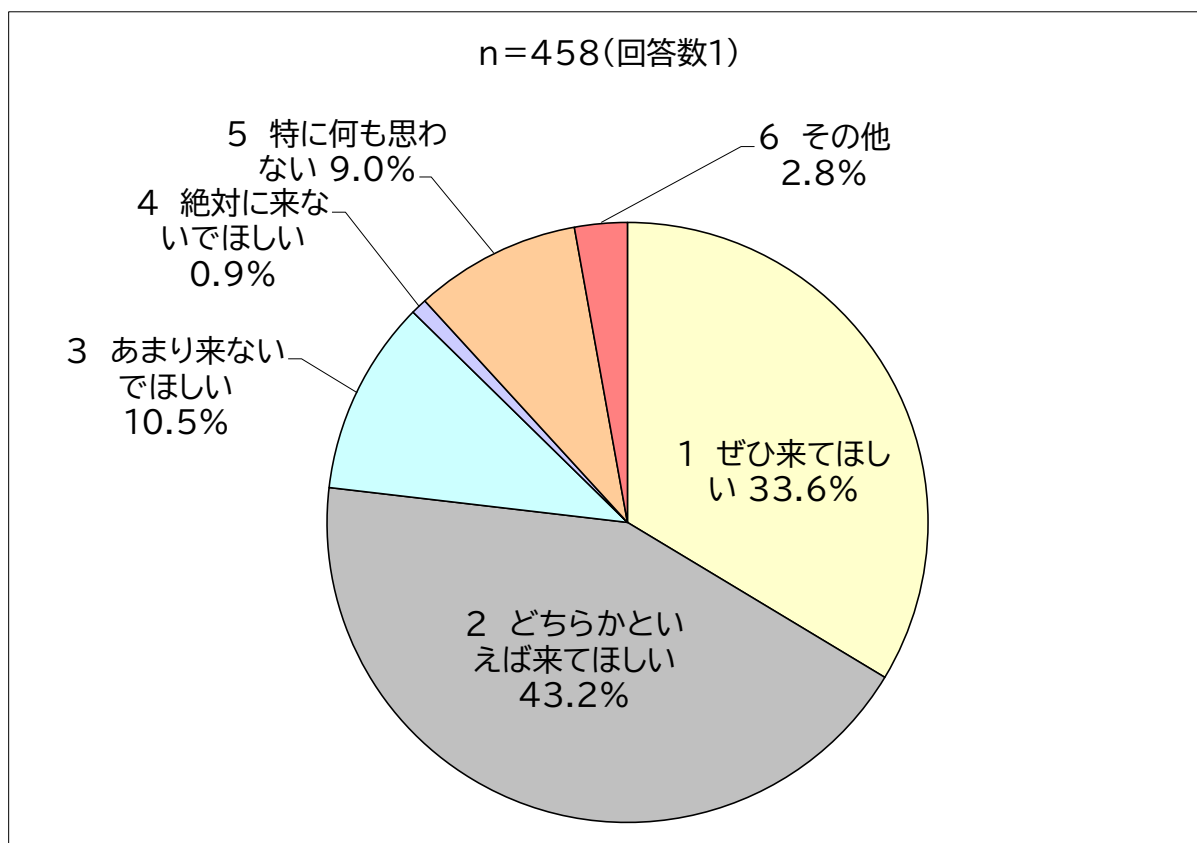
問4 旅行先を選ぶときに、料金以外にどのようなことを重視しますか。(回答数は3つまで)



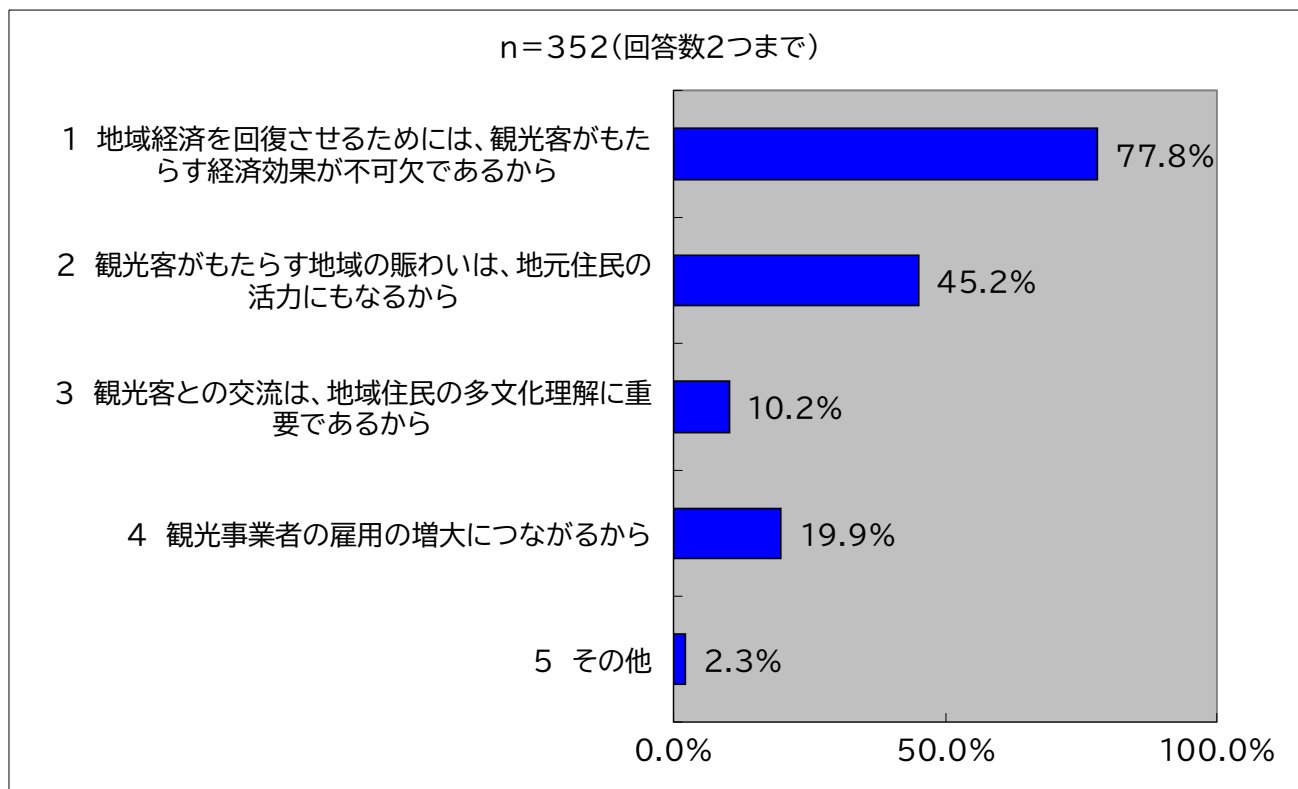
問5 旅行先でどのようなことが印象に残りますか。(回答数は3つまで)



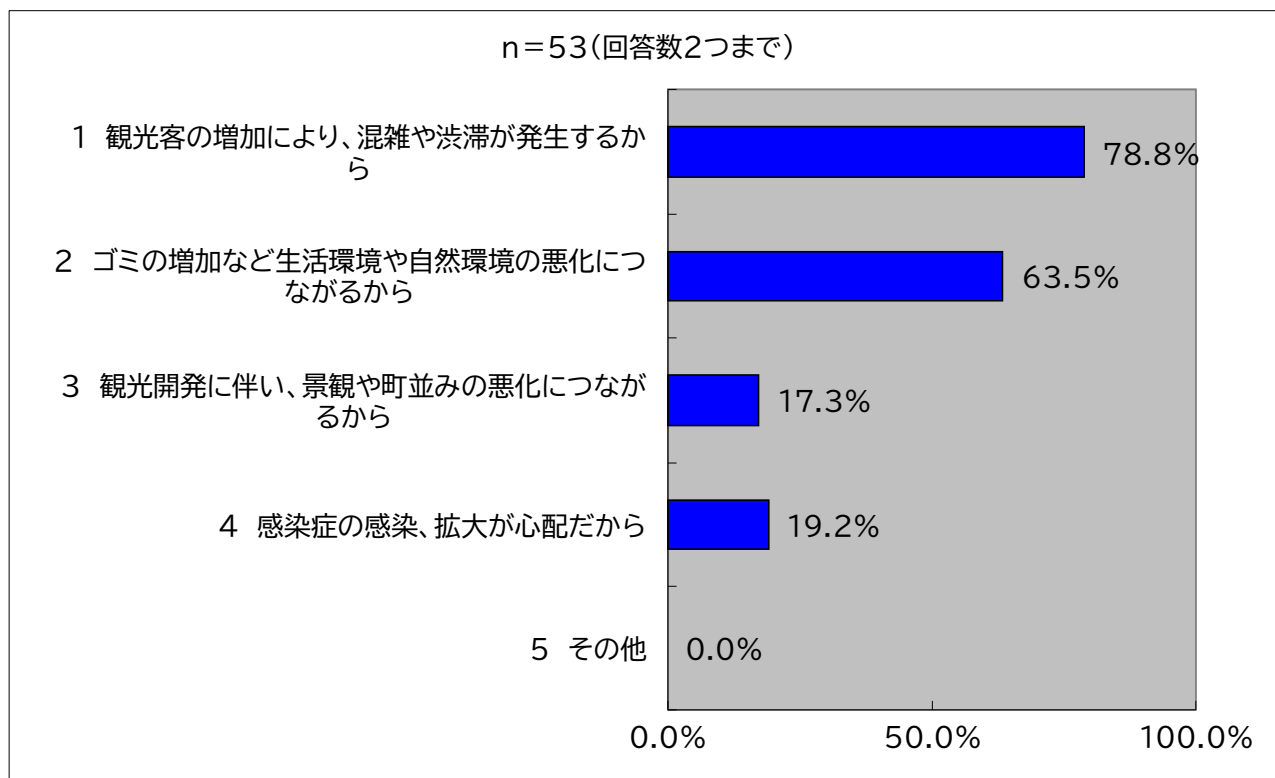
問6 本県への観光客の受入について、どのように考えますか。(回答数は1つ)



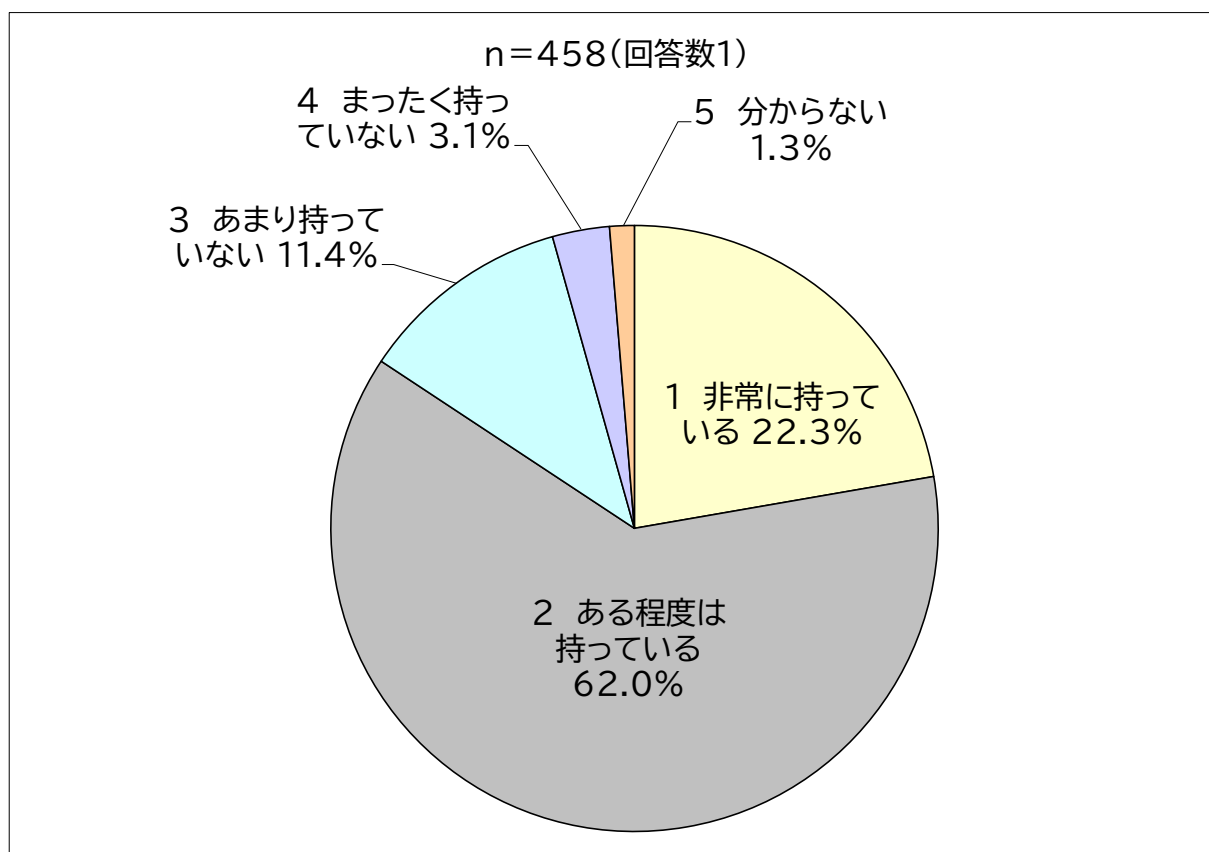
問6-2 問6で選択肢1または2を選択された方に伺います。その理由は何ですか。(回答数は2つまで)



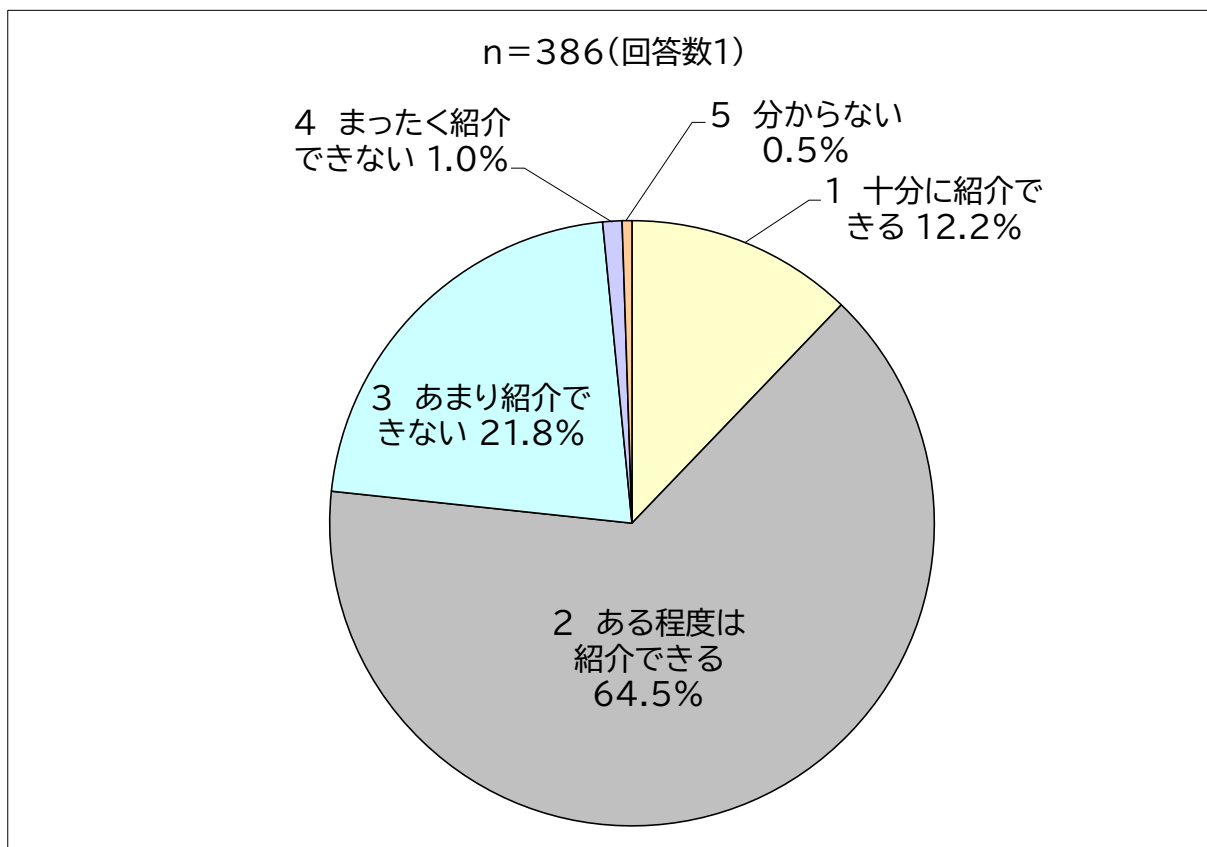
問6-3 問6で選択肢3または4を選択された方に伺います。その理由は何ですか。(回答数は2つまで)



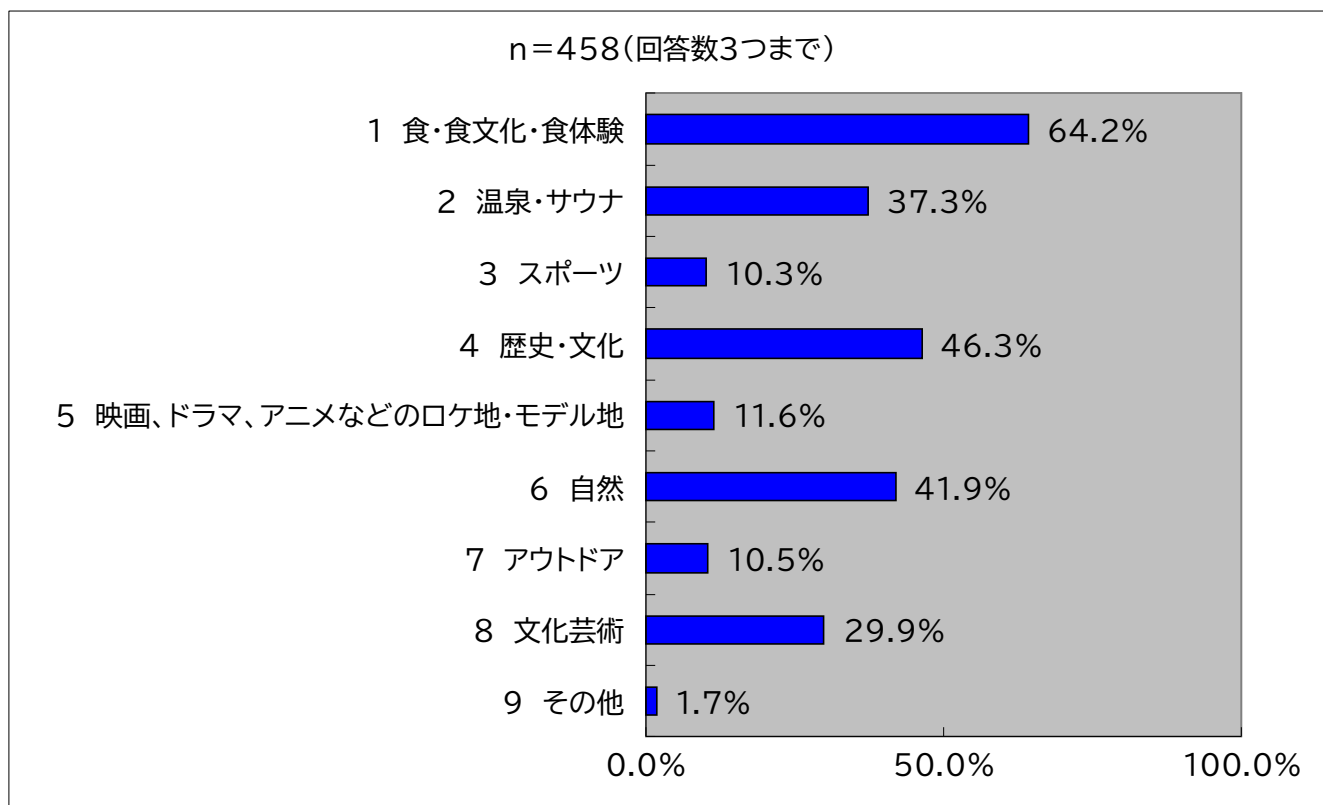
問7 あなたの住む地域に対して誇りや愛着を持っていますか。(回答数は1つ)



問7-2 問7で選択肢1または2を選択された方に伺います。あなたの住む地域を訪れた方に、地域の魅力を紹介できますか。(回答数は1つ)

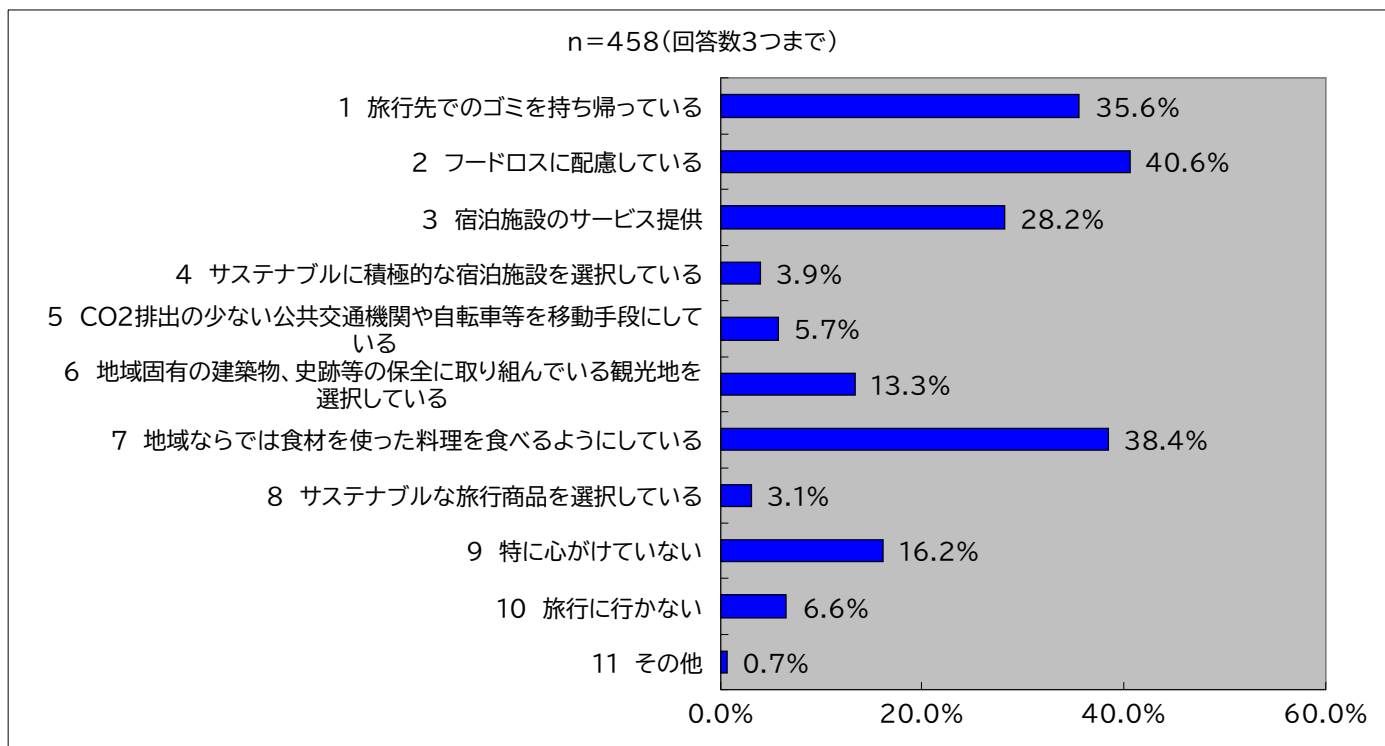


問8 今後、どのようなテーマの観光をしたいですか。(回答数は3つまで)

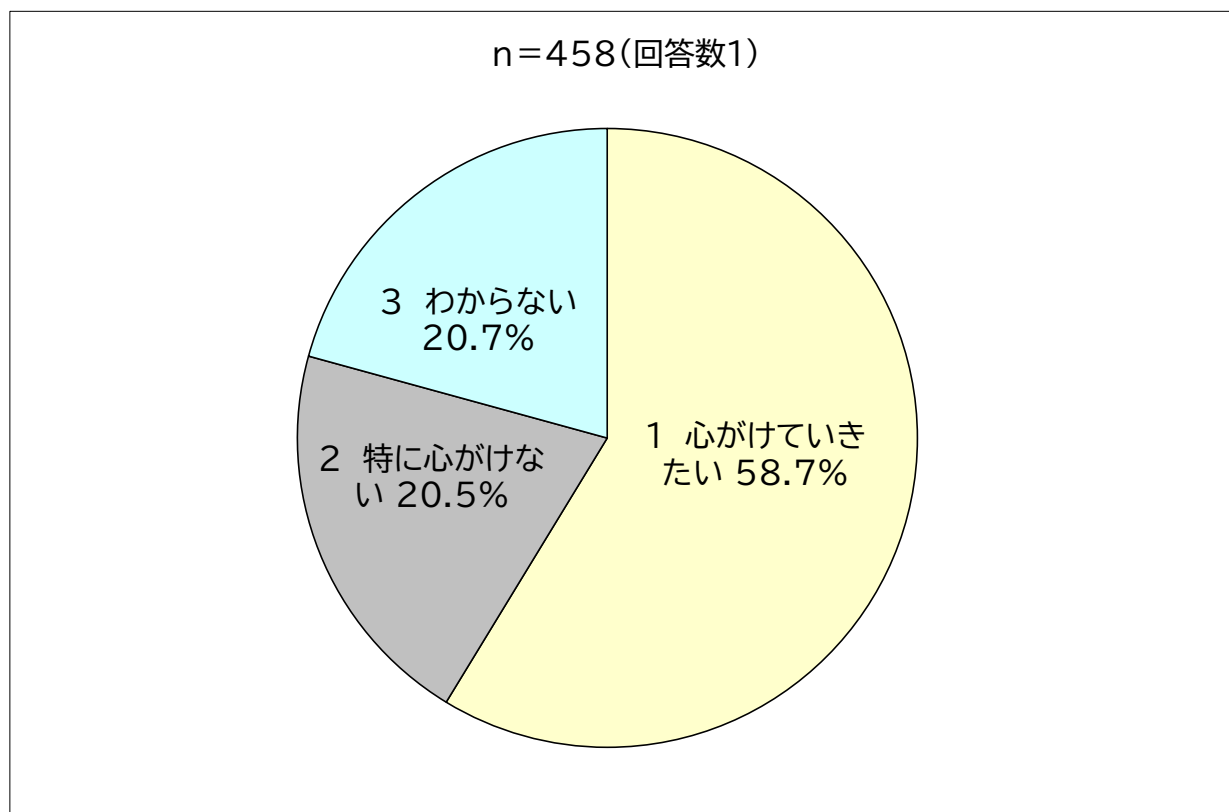


問9 静岡県では、多彩な観光資源を活用したサステナブルツーリズム※を推進しています。サステナブルに関して、旅行する際にどのようなことを心がけていますか。(回答数は3つまで)

※訪問客、業界、環境及び訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在及び将来の経済、社会、環境への配慮を十分に考慮した観光



問10 今後1年間において、よりサステナブルな旅行を心がけたいですか。(回答数は1つ)



問11 今後の県の観光施策に関して、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。
(500字以内)

担当課 観光政策課

電話 054-221-3617

FAX 054-221-3627

メール kankou2@pref.shizuoka.lg.jp